

**令和7年度
日野市高齢者見守り支援ネットワーク
事業報告書**



**令和8年4月
日野市健康福祉部高齢福祉課**

目 次

はじめに「本業務の概要」	1
本業務の目的	1
見守り支援ネットワークを支える人と機関	2
これまでの取組	4
 第1章「個別の取組の実施支援」	7
1-1 取組の概要	7
1-2 各取組の実施状況	8
1-2-1 はつらつ・あんしん調査	8
コラム 気にかけてい高齢者とはどんな方？	11
1-2-2 「見守り・声かけ」	12
1-2-3 ふれあいサロン	14
コラム 詐欺被害から周りの人を守りましょう！	19
1-2-4 見守りメール配信	20
1-3 令和7年度の取組の達成状況と令和8年度の対応案	26
 第2章「より良いネットワークの構築支援」	29
2-1 取組の概要	29
2-2 各取組の実施状況	30
2-2-1 地域の特徴にあわせた見守り活動の拡大	30
コラム その他の新しい取組 ～“見守り”とSNSの関係は？	35
2-2-2 地域資源に関する情報の収集等	36
コラム “見守りかるた”をもっと活用しましょう！	38
2-3 令和7年度の取組の達成状況と令和8年度の対応案	39
 第3章「ネットワーク運営に関するその他の支援」	41
3-1 取組の概要	41
3-2 各取組の実施状況	42
3-2-1 検討部会の開催	42
3-2-2 事業PRの実施	46
3-2-3 先進事例の検討調査	50
3-3 令和7年度の取組の達成状況と令和8年度の対応案	52

はじめに「本業務の概要」

本業務の目的

(1) 見守り支援ネットワークの基本的な考え方

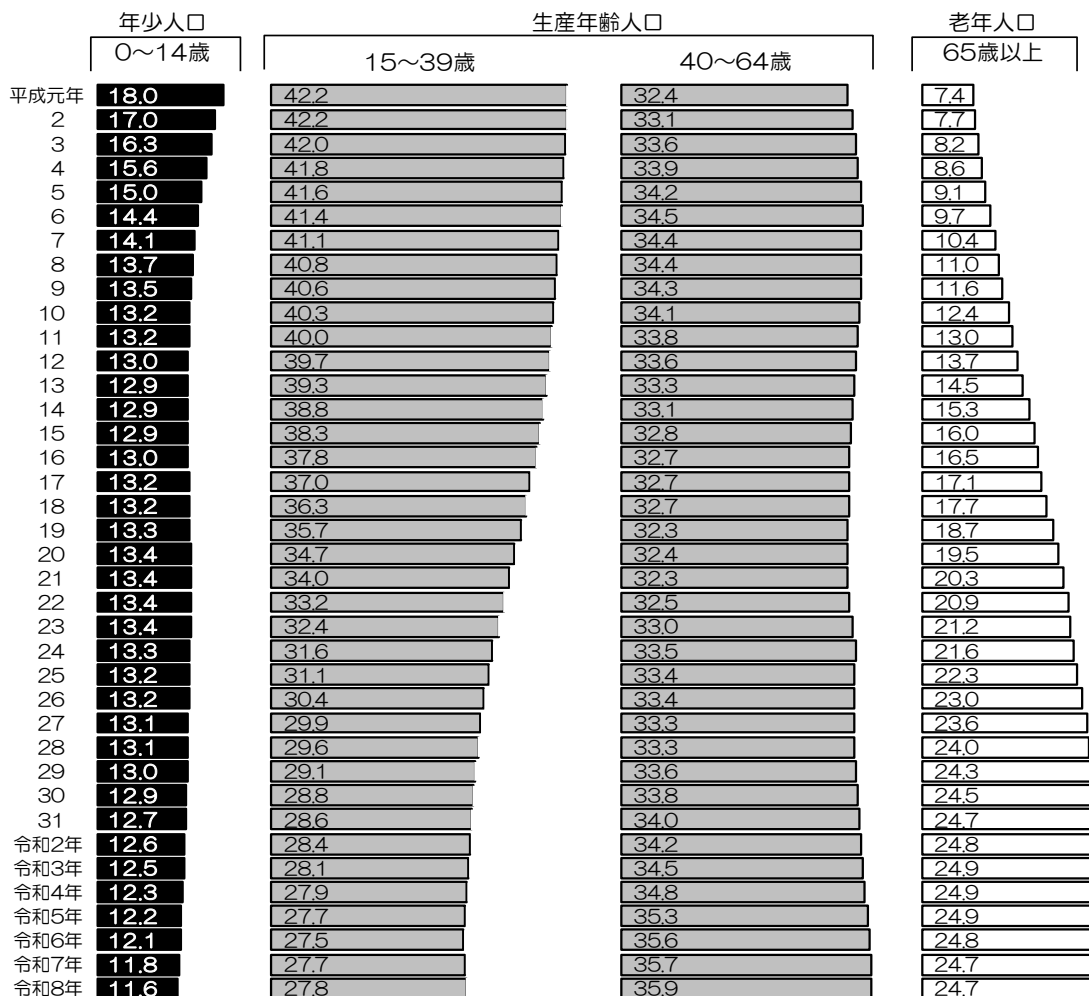
住み慣れた地域で支えあい、安心していきいきと暮らせるまち

日野市の高齢者人口は1人暮らし世帯や高齢者のみ世帯を中心に増加が続いています。令和8年1月1日時点の高齢者人口は46,750人、高齢化率は24.7%で、高齢者人口の増加に伴う虚弱や要介護となる恐れのある高齢者の増加、核家族化の進行に伴う家族による介護機能の低下、都市化傾向の進展による近隣コミュニティの結びつきの希薄化などを背景に、孤立死のような不幸な事件も起きています。

高齢者福祉の分野では、特に身近な「地域」で高齢者の生活を支える仕組みづくりが最重要課題となっており、日野市では、こうした社会的にも孤立しがちな高齢者を地域での支えあいを通じ見守り、支援する「高齢者見守り支援ネットワーク」の構築によって「安心していきいきと暮らせるまち」づくりに積極的に取り組んでいます。

(2) 本報告書の位置付け

本報告書は、上記の目的を達成するために平成16年度から取り組んできた「日野市高齢者見守り支援ネットワーク事業」の令和7年度の活動内容をまとめたものです。



※日野市男女別年齢別人口統計、各年1月1日時点のデータを集計

見守り支援ネットワークを支える人と機関

日野市の高齢者見守り支援ネットワークの基本型となる「見守り・声かけ」は、以下の方々の協力を得て実施しています。（基本的な考え方や令和7年度の実績等は12-19ページ、その他の関連する取組は30-38ページを参照）

（１）ふれあい見守り推進員



見守りというアンテナを張り、普段の生活の中で気になることを見つけたら地域包括支援センターに連絡するボランティアの方々です。

一部の方は、特に見守りを希望する高齢者＝「対象高齢者」に対して定期的に“見守り（様子見）”や“声かけ（玄関先でのご挨拶等）”を行う活動をしています。

（２）協力事業所



「ふれあい見守り推進員」と同じアンテナ役として、地域の商店、事務所、医療機関等にも協力をお願いしています。

業務を通じて高齢者と接する中で、その問題や異変を早期に発見して、地域包括支援センターに連絡します。

（３）公共公益機関：以下の各機関もそれぞれの方法で地域の高齢者を見守っています。

日野警察署



巡回中などに心配な高齢者を見守っています。

日野消防署



防火診断の為の家庭訪問で心配な高齢者を見守っています。

日野郵便局



配達時に郵便がポストに溜まっていないか確認しています。

日野環境保全



可燃ごみのごみ出し確認やごみの個別収集を行っています。

アンテナ役となる人や機関の協力による「見守り・声かけ」に対して、高齢者を含めた地域の多様な人が集まり交流する中で“自然に見守りができている”状態を目指すのが「ふれあいサロン」です。（基本的な考え方や令和6年度の実績等は14-19ページを参照）

（４）ふれあいサロン



ふれあいサロンでは、“いつでも気軽に立ち寄れる「地域のたまり場」”を合言葉に、地域の有志の方々がスタッフとして高齢者等を温かく迎えています。

来訪者と日々接するため、様子の変化が分かります。心配な方がいたら、その場で声をかけたり、地域包括支援センターに相談したり・相談するように勧めたりしています。

地域と行政機関とのパイプ役として、様々な取組に関わっているのが地域の民生委員・児童委員です。

（５）民生委員・児童委員



民生委員法にもとづいて地域の高齢者からの相談等に応じる役割を委嘱された方々です。

見守り支援ネットワークでは、地域を見守る仲間として「ふれあい見守り推進員」等の相談相手になったり、地域包括支援センターと連携して気になる高齢者への支援策等の検討を行ったりしています。

支援策等の検討を行う際の貴重な材料の１つになっている「はつらつ・あんしん調査」の実施にあたっても多大な協力を得ています。（「はつらつ・あんしん調査」については 8-11 ページを参照）

見守り支援ネットワークの構築を行政側からリードするのが以下の機関です。

（６）地域包括支援センター（通称「包括」）



高齢者の皆さまが住み慣れた地域で安心して生活していただくために日野市が民間の医療福祉法人等に委託して設置する総合相談窓口です。

それぞれの担当地域において、「ふれあい見守り推進員」等の協力者の登録～連絡の受付～必要な支援策の手配まで全てをとりまとめるほか、協力者同士の情報交換等の機会となる「地区連絡会」も開催している要の機関です。（「地区連絡会」については 36-38 ページを参照）

“何かあったら「包括」へ”と覚えてください！

（７）日野市役所高齢福祉課



高齢者に関する市の施策全般を担う部署です。

地域包括支援センターから各地域の活動状況の報告を受けて、ネットワーク全体に目を配っています。

また、見守り支援ネットワークの作戦本部となる「検討部会」を開催し、地域包括支援センターとともに地域の情報収集や課題の検討、地域への働きかけ等を行っています。（「検討部会」については 42-45 ページ、「検討部会」の中で実施した取組「地域の特徴にあわせた見守り活動の拡大」については 30-35 ページ参照）

これまでの取組

見守り支援ネットワーク事業は、地域のボランティアの方々等の協力を得ながら、以下の通り少しずつ活動を広げてきました。

年度	テーマ	特徴的な取組
H16	○資源・ニーズの把握 ○モデルシステムの構築	・市内の高齢者を対象とした「ふれあい訪問調査」や事業所を対象とした“連携可能性調査”を実施し、「現在は元気で自立しているが健康面が不安なひとり暮らし高齢者」などの対象となる高齢者像と具体の支援内容を5つのパターンにとりまとめる
H17	○モデルシステムの試行・評価 ○事業計画づくり	・市内4つのモデル地区で19人の対象高齢者、30人のふれあい見守り推進員とともに“見守り”“声かけ”の支援を試行 ・この成果をもとに、「週1回のさりげない見守り」「月1回程度の玄関先での声かけ」の活動を全市へ2カ年で展開する計画を作成
H18	○地域展開スタート	・平成17年度に設定した目標に従って市内各地で順次ネットワークの立ち上げを行い、市内の半分で活動がスタート ・立ち上げにあわせて「見守り支援ネットワークフォーラム」を開催したほか、2回目のふれあい訪問調査も実施（以降毎年実施）
H19	○基本型の全市展開 ○新しい活動の芽生え	・平成18年度から始まったネットワークの立ち上げが完了し“見守り”“声かけ”が全市に広がる ・活動の中から見えてきた課題に対する新たな展開として「百草ふれあい協議会」による「ふれあいサロン」の開設を準備
H20	○ネットワークの拡大	・「ふれあい交流型」活動を継続的に支援するための要綱を策定 ・5つのパターンの最後の1つ「お世話・お手伝い型」にあたる「ちょこっとお手伝いサービス」を新たに立ち上げる
H21	○活動の継続実施 ○新たな活動方針の検討	・対象高齢者や見守り推進員の拡充、サロン「よりみちさくら」の新規開設など既存の活動のフォローアップを実施 ・立ち上げ当初の計画がおおむね実施されたことを受けて、課題の解消とさらなる活動の充実を目指して新たな活動方針を検討
H22	○ネットワークの次なる展開	・既存の活動と並行して、平成21年度に検討した新たな活動方針の1つである「気かけ運動」の企画検討に着手 ・見守り支援ネットワークのPRの一環として、高齢者月間にあわせて市役所ホールを会場にパネル展を開催
H23	○全市展開から5年の振り返り	・平成18年に“見守り”“声かけ”の全市展開を開始してから5年が経過したのを記念して、これまでの活動の振り返りや今後の展開を考えるシンポジウムを開催
H24	○「気かけ運動」の積極的な展開 ○事業PRの展開	・「気かけ運動」の展開にあたって、従来の手あげ方式から、こちら積極的に地域を訪問して「勉強会」を開催する方法を試行 ・「気かけ運動」の展開とあわせて、広報ひのや「市民活動フェア」に参加して、見守り支援ネットワーク全体のPRを積極的に展開
H25	○調査方法の改善 ○「気かけ運動」の継続展開	・ネットワークの展開を検討する際の基礎資料の1つとなっていたふれあい訪問調査（はつらつ・あんしん調査）の実施方法を改善 ・「気かけ運動」の展開を継続しながら、市民活動フェアや「地域かわら版」にて取組のPRを実施
H26	○「気かけ運動」の一般化と拡大	・「気かけ運動」の狙いや基本的な活動イメージをまとめた「気かけ運動の手引き」等を作成 ・「手引き」と「チラシ」を用いてより多くの地域へ働きかける

／次ページに続く

年度	テーマ	特徴的な取組
H27	○10 周年記念シンポジウムの開催	- モデル地区での試行から 10 年が経過することを記念して「見守り支援ネットワーク 10 周年記念シンポジウム」を開催 - シンポジウムでは、協力者の方々の労いとこれからの見守り支援ネットワークを考えるヒントを得るための講演を実施
H28	○モデル地域への気かけ運動の展開	- 地域特性を整理した上で選定したモデル地区において「気かけ運動」の集中展開を実施 - 見守り支援ネットワークの戦略的な展開や地域からの相談にあたっての検討材料として、高齢化の状況や集会施設の分布、サロン活動等の実施状況を整理
H29	○気かけ運動を入口にした統合型ネットワークへの転換検討	- モデル地区に対する継続的な支援を実施 - 見守り・声かけの基本的な方法を学び、活動目標を立てる勉強会の開催とそのテキスト「気かけ運動ワークブック」を作成
H30	○統合型ネットワークへの転換に向けた具体的取組の検討	- 働きかけの狙いや対象の明確化 - ー市民を対象にした“気かけ”の意識付け 等 - メール配信システム等の新たな仕組みの導入の検討 - 既存の取組の見直し、改善の開始
R1 (H31)	○統合型ネットワークの実現に向けた検討	- 働きかけの狙いに対応した 3 ステップに基づく戦略的な事業展開（特にメール配信システムの導入準備や事業 PR チラシの更新、ふれあいサロン体験ツアーなど） - 地図を使った課題や対応策の検討（「第 2 層協議体」を意識したプログラムの実践）
R2	○メール配信システムの運用開始	- メール配信システムの導入・運用開始 - その他、新型コロナウイルスに対応した活動に対する支援検討 - ー「地域でささえる・つながる」プロジェクト補助金 等
R3	○見守り支援ネットワークの再構築	- 見守り支援ネットワークの位置づけと今後の目標の再定義（“地域の高齢者への支援の入口”を拡大・強化する） “相手を特定しない見守り”を行うふれあい見守り推進員の登録を強化する方策の検討
R4	○再構築の方向性を踏まえたネットワークの強化	- 地域の“見守り”に関する説明会の開催 - ふれあい見守り推進員の手引きの更新 等
R5	○ネットワークの強化～既に登録・活動している方への働きかけ	“地域をまたいだ”ふれあい見守り推進員交流会の開催 “町田市みまもりかるた”を活用した見守り方法に関する情報発信
R6	○地域の特徴にあわせた見守り活動を拡大する方策の検討	- 各包括の取組や見守りに関連した資源の確認 - 地域包括支援センター毎に、地域の中で“見守り”に関連する様々な活動を組み合わせて見守り活動を拡大するための計画策定
R7	○地域の特徴にあわせた見守り活動の拡大	前年度に検討した計画にもとづいて、地域の中で行われている様々な活動を把握したり、協力関係を築いたり、育成をしたり…“見守り”活動を拡大する取組を実践

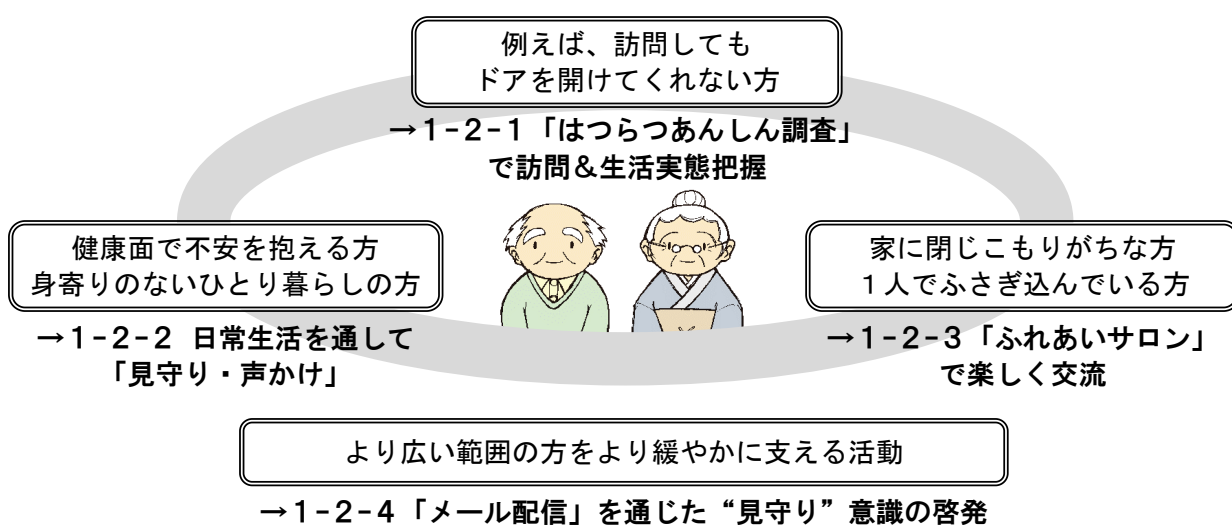
第1章「個別の取組の実施支援」

1-1 取組の概要

見守り支援ネットワークは、まず高齢者の生活実態を把握する「はつらつ・あんしん調査」を通じて必要な支援内容を整理した上で、「見守り・声かけ」を出発点にできることから少しずつ活動を広げてきました。現在、主に実施しているのは以下の4つの取組です。

第1章では、これらの取組の概要と令和7年度の実績をまとめます。

▼現在実施している取組



※ この他に、体力低下・怪我・風邪などで普段の生活に困っている方に対して、地域でお手伝いや生活支援のサービスを行う団体^{ごきんじょ}を支援する「互近助サービスちょこすけ」という事業が令和4年度からスタートしています。

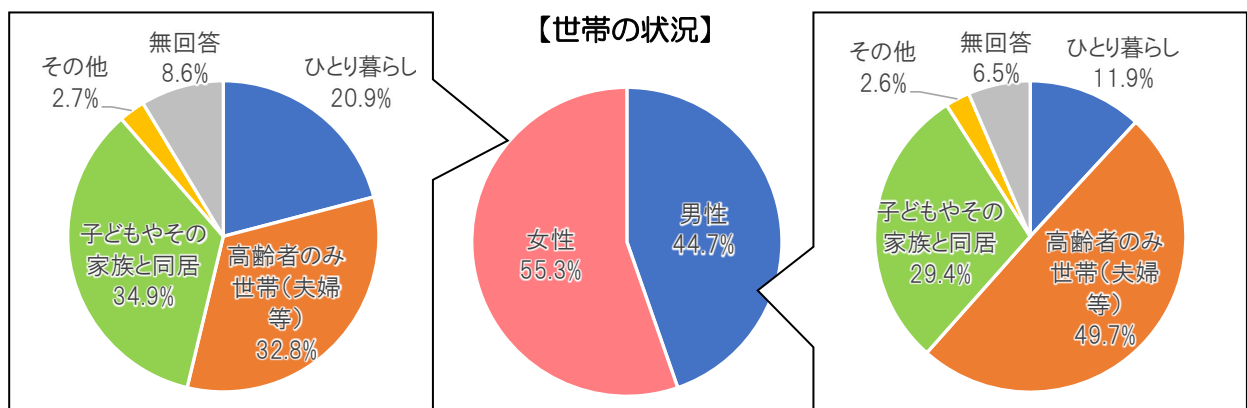
(2) 取組の実績

- ✧ 送付数、回収数は少しずつ増加しており、今回は 8,293 人という多くの方から回答を得ることができました。回収率は 9 割弱という高い水準を維持しています。
- ✧ 高い回収率が維持できているのは、一定期間内に返送がなかった方のお宅を民生委員が訪問し、返送を促していることが大きな要因になっていると考えられます。
- ✧ 世帯構成は、前年度と同様に男性では「高齢者のみ世帯（夫婦等）」、女性では「子どもやその家族と同居」が最も多く、それぞれ全体の 1/3、1/2 となっています。
- ✧ ただし、家族と同居しているが日中は家にひとりであるという方も多く、ひとり暮らしとあわせて男性全体の 1/4 強、女性全体の 1/3 強となっています。
- ✧ 日常の交友状況については、友人や近所の方と「週3回以上会う」方が最も多く、全体の 7 割近くの方が定期的に友人等と交流していますが、90 代以上では「週3回以上会う」方が大きく減少し、「交流なし」が増加する傾向も見られます。
- ✧ 見守り支援の希望については、「今のところ必要ない」が約 8 割～9 割を占めていますが、見守りを希望する方（「はい」）は年齢が高くなるほど増加する傾向があり、「登録済み」の方よりも多くなっています。

▼調査票の配布・回収状況

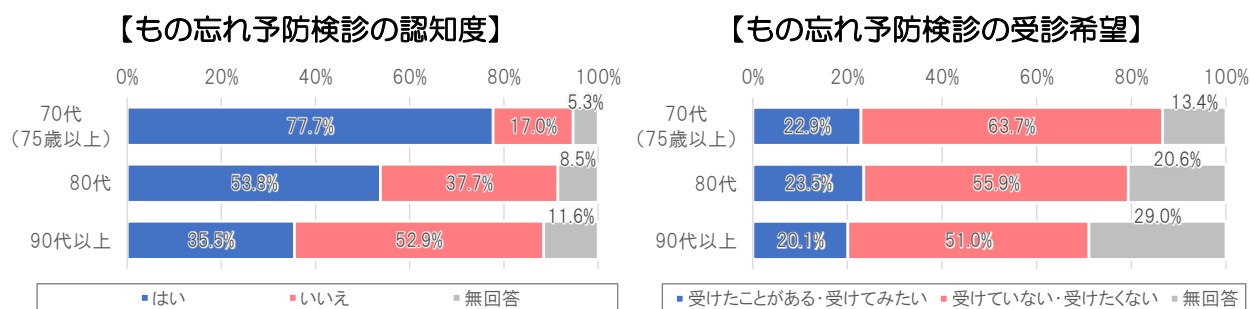
調査年度	送付数	回収数	回収率
令和5年度はつらつ・あんしん調査	9,353 人	8,047 人	86.0%
令和6年度はつらつ・あんしん調査	9,559 人	8,277 人	86.6%
令和7年度はつらつ・あんしん調査	9,691 人	8,293 人	85.6%

▼調査結果の概要



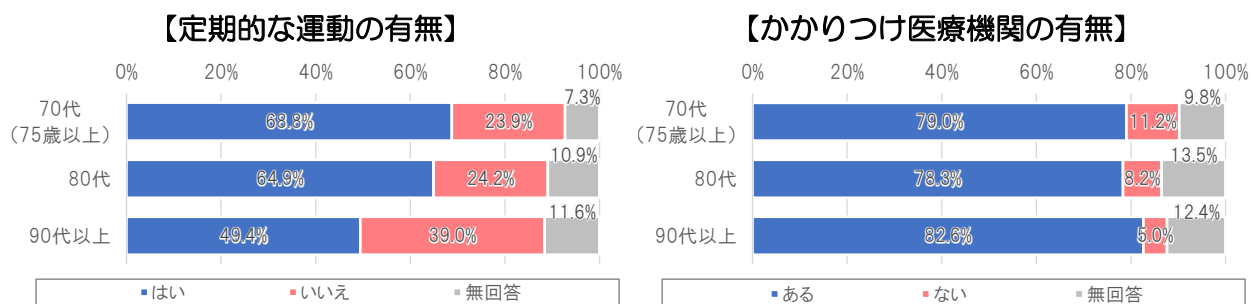
▼市の施策の参考にするための質問項目とその結果

- ◇ 『もの忘れ予防検診（無料）』を知っている（「はい」）という方はとても多く、特に施策の対象である70代の方は8割近くが知っていることが分かります。
- ◇ 一方で、『もの忘れ予防検診（無料）』を「受けたことがある・受けてみたい」という方は、年齢に関わらず概ね2割強にとどまっており、この検診をいかに受けようと思ってもらうかが課題となっていることが分かります。

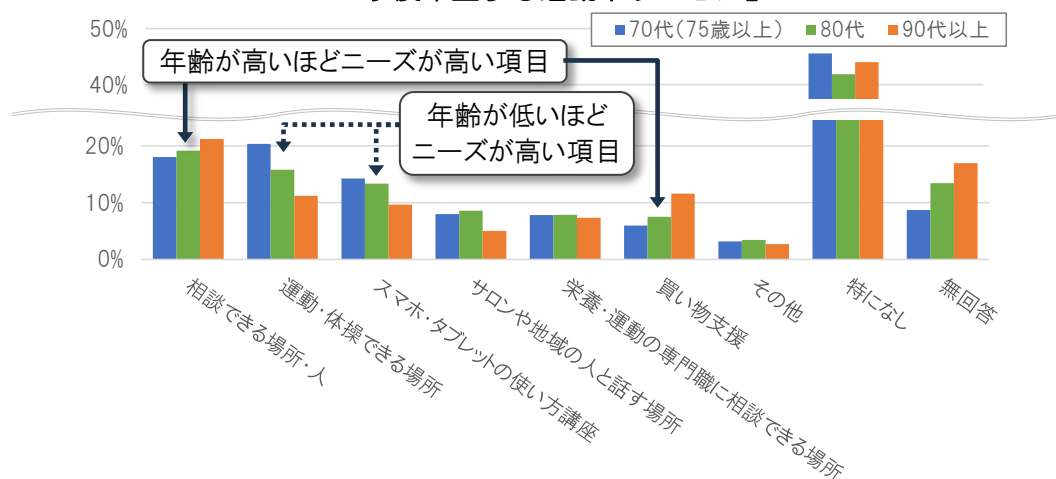


▼その他の質問項目とその結果

- ◇ 定期的に運動を行っている方（「はい」）はそうでない方よりも多くなっていますが、その割合は年齢が高くなるほど減少する傾向が見られます。
- ◇ かかりつけの医療機関が「ある」と答えた方はとても多く、特に90代以上で「ない」と答えた方はとても少なくなっています。
- ◇ 希望する活動やサービスは「特になし」が最も多くなっていますが、これは調査対象が介護認定を受けていない方等であるため現時点では困りごとが少ない故と推察されます。ただし、「買い物支援」のように全体では人気は低く見えても90代以上では2番人気という例もあるため、詳細にニーズを分析することが重要です。



「今後希望する活動やサービス」



コラム 気にかけたい高齢者とはどんな方？

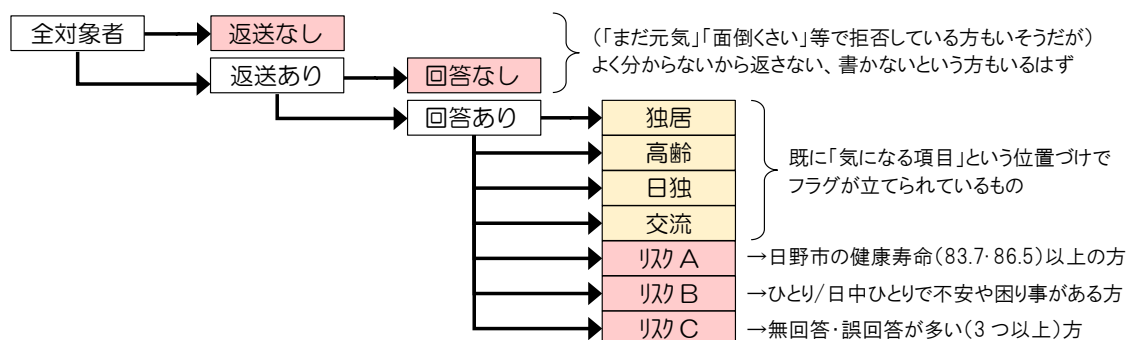
日野市では、高齢者の生活状況を把握したり地域の中で「誰も知らない」高齢者を減らしたりするだけでなく、高齢者の異変の早期発見に直接役立てることを狙って、「はつらつ・あんしん調査」の集計・分析を行っています。

令和7年度は、令和4年度に調査票の見直しを行ったことを受けて、見直し後の質問項目から新たにどんな心配な方（気にかけたい方）を見つけることができるか検討を行いました。

▼新たに検討した心配な方のイメージ

令和5、6年度の調査結果を使ってどんな方を抽出できるかを検討し、下図に示す合計5パターンに該当する方の人数を集計しました。

こうした集計・分析結果を活用して、特定の項目や複数の項目に該当する方を優先的に訪問する（見守り希望の方以外も積極的に訪問する）、リスクの内容に対応した見守り等の施策を検討することを想定しています。



包括	対象者	未返送	未回答	回答済							【参考】 見守り希望
				独居	高齢	日独	交流	リスクA	リスクB	リスクC	
もぐさ	2,614	402	28	451	933	512	360	431	134	99	86
あさかわ	2,353	283	17	392	798	464	311	376	119	86	55
すてつぷ	2,412	301	14	376	928	464	315	344	100	87	68
あいりん	1,876	261	14	311	654	393	286	345	84	82	59
せせらぎ	2,512	325	26	325	884	491	354	375	116	108	64
多摩川苑	2,252	298	15	265	774	456	284	292	129	92	83
いきいき	1,614	218	20	222	602	291	213	245	83	53	43
すずらん	1,836	245	18	210	718	304	233	262	66	66	38
かわきた	1,443	213	13	211	538	289	192	257	73	66	48
合計	18,912	2,546	165	2,763	6,829	3,664	2,548	2,927	904	739	544
	100.0%	13.5%	0.9%	14.6%	36.1%	19.4%	13.5%	15.5%	4.8%	3.9%	2.9%

：全市の平均よりも比率が高いもの

：9包括の中で最も比率が高いもの

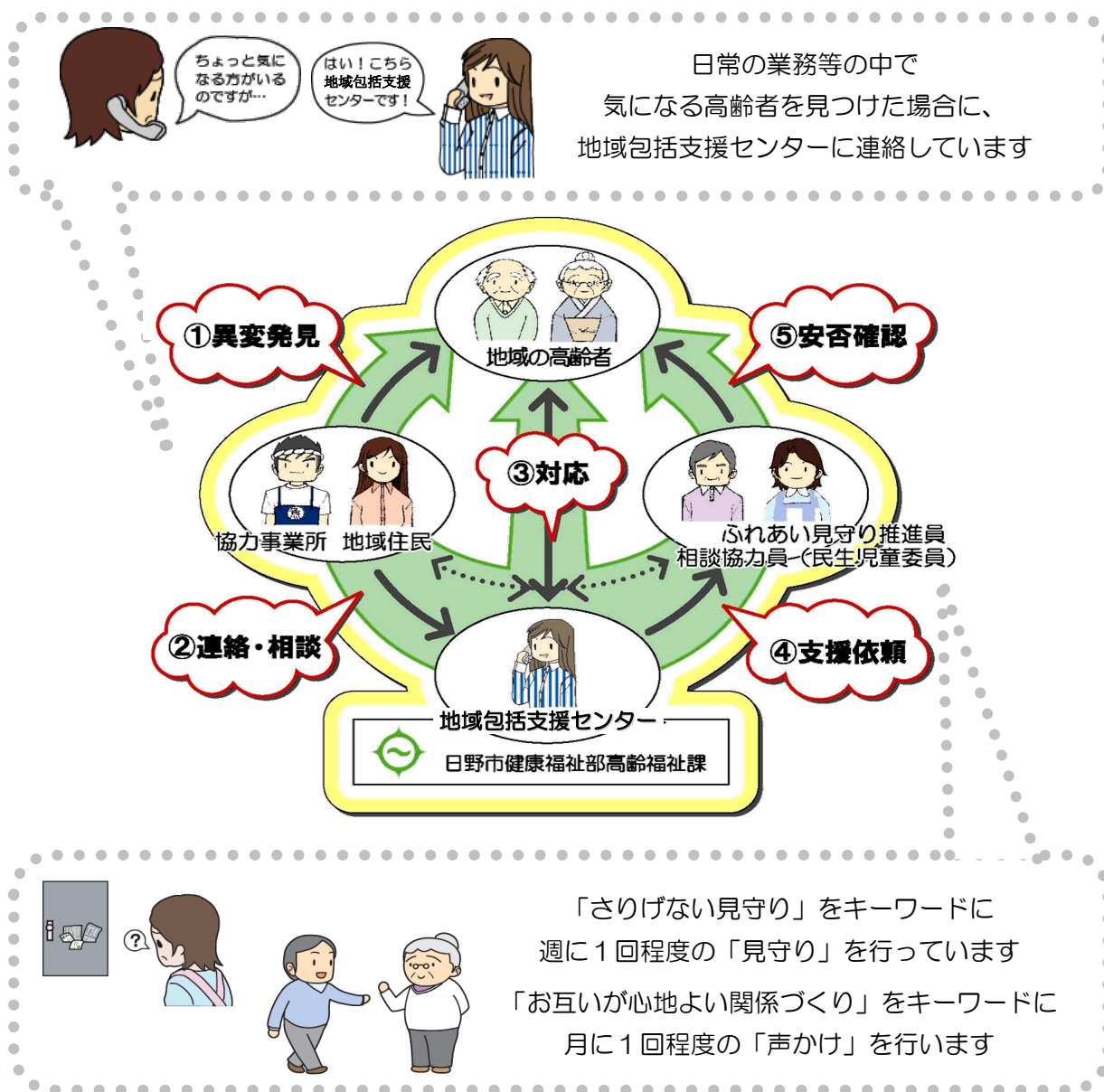
1-2-2 「見守り・声かけ」

(1) 取組の概要

地域の「ふれあい見守り推進員」「協力事業所」を中心に、地域での「見守り」による異変発見から定期的な安否確認の「声かけ」までを繋げる日野市の高齢者見守り支援ネットワークの基本型となる取り組みです。

平成17年度にモデル地区4地区でスタートしてから約20年に渡って、協力者の輪を広げながら、地域の高齢者の異変発見や安否確認を行っています。

▼取組のイメージ



(2) 取組の実績

- ◇ 対象高齢者は、7人の新規登録がありましたが、13人の登録廃止があったため、3年ぶりの減少となりました。最終的な登録者数は81人となっています。
- ◇ ふれあい見守り推進員は、二桁以上の登録廃止が続いていますが、今年度は8人の新規登録があったため全体では5人減の計149人となっています。
- ◇ 協力事業所については、市外3事業所を含む9事業所の新規登録がありましたが、19事業所の登録廃止があったため、最終的には計443事業所となっています。

▼対象高齢者の登録状況

	もぐさ	あさかわ	すてっぴ	あいりん	せせらぎ	多摩川苑	いきいきタウン	すすらん	かわきた	合計
R5	15人	16人	9人	11人	9人	1人	2人	5人	3人	71人
R6	15人	29人	12人	13人	11人	1人	1人	3人	2人	87人
R7	12人	30人	12人	14人	3人	1人	1人	6人	2人	81人
増 減	+0人 -3人	+1人 -0人	+1人 -1人	+1人 -0人	+0人 -8人	+0人 -0人	+0人 -0人	+4人 -1人	+0人 -0人	+7人 -13人

▼ふれあい見守り推進員の登録状況

- ◇ 地域にお住まいの協力者の方々です。地域包括支援センターからの依頼を受けて、高齢者宅の訪問や、挨拶などの声かけを無理のない範囲で行っています。

	もぐさ	あさかわ	すてっぴ	あいりん	せせらぎ	多摩川苑	いきいきタウン	すすらん	かわきた	合計
R5	19人	24人	29人	23人	20人	25人	10人	10人	5人	165人
R6	15人	23人	27人	23人	20人	25人	9人	8人	4人	154人
R7	13人	26人	27人	21人	18人	23人	8人	10人	3人	149人
増 減	+0人 -2人	+3人 -0人	+1人 -1人	+0人 -2人	+1人 -3人	+1人 -3人	+0人 -1人	+2人 -0人	+0人 -1人	+8人 -13人

▼協力事業所の登録状況

- ◇ 商店、事務所、医療機関等の事業所の方々です。業務を通じて地域の高齢者と接する中で問題や異変を早期発見した場合に地域包括支援センターへ連絡を行っています。

	もぐさ	あさかわ	すてっぴ	あいりん	せせらぎ	多摩川苑	いきいきタウン	すすらん	かわきた	市外	合計
R5	24所	92所	67所	90所	41所	56所	13所	33所	22所	13所	451所
R6	26所	93所	68所	88所	41所	56所	13所	32所	23所	13所	453所
R7	26所	93所	69所	86所	32所	56所	13所	31所	21所	16所	443所
増 減	+3所 -3所	+0所 -0所	+1所 -0所	+2所 -4所	+0所 -9所	+0所 -0所	+0所 -0所	+0所 -1所	+0所 -2所	+3所 -0所	+9所 -19所

▼その他の機関との連携状況

日野警察署、日野消防署、日野郵便局、(株)日野環境保全の4機関にも事業開始当初から協力をいただいています。



「巡回中の見守り」
など



「防火診断のための
家庭訪問」など



「郵便配達時の
ポストの確認」など



「ごみ出し確認」「希望者
への声かけ収集」など

1-2-3 ふれあいサロン

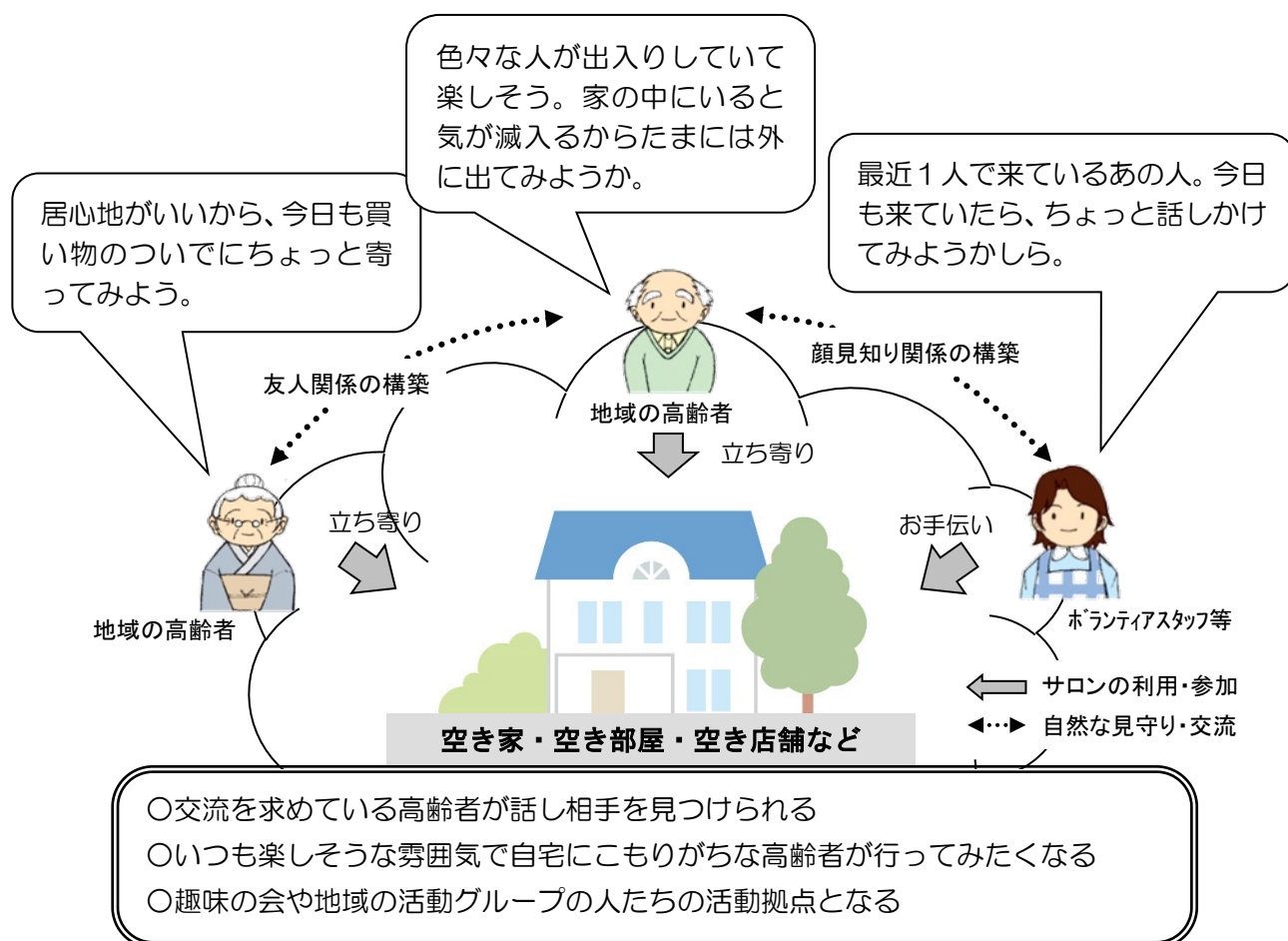
(1) 取組の概要

「見守り・声かけ」の活動を展開する中で、「登録を拒否する方や自宅に引きこもりがちの方への対応が課題」「地域の高齢者が集まれるような場所をつくってはどうか」といった声が出てきました。

「ふれあい交流型」の取り組みは、このような声に応えるべく、いつでも気軽に立ち寄れる「地域のたまり場」となるような場所をつくって、高齢者を含めた地域の多様な人が集まって交流する中で“自然に見守りができている”状態をつくりあげることを目指しています。

平成19年度から、交流の拠点となるような“場所”とその運営を担う“人”の両面から立ち上げの支援を開始し、平成20年4月に第1号の「百草団地ふれあいサロン」が正式オープンを迎えました。平成21年度からは、「日野市高齢者見守り支援ネットワークふれあい交流型実施要綱」にもとづき、高齢者のふれあいをテーマにした既存の活動についても補助金の交付などの支援を行っています。

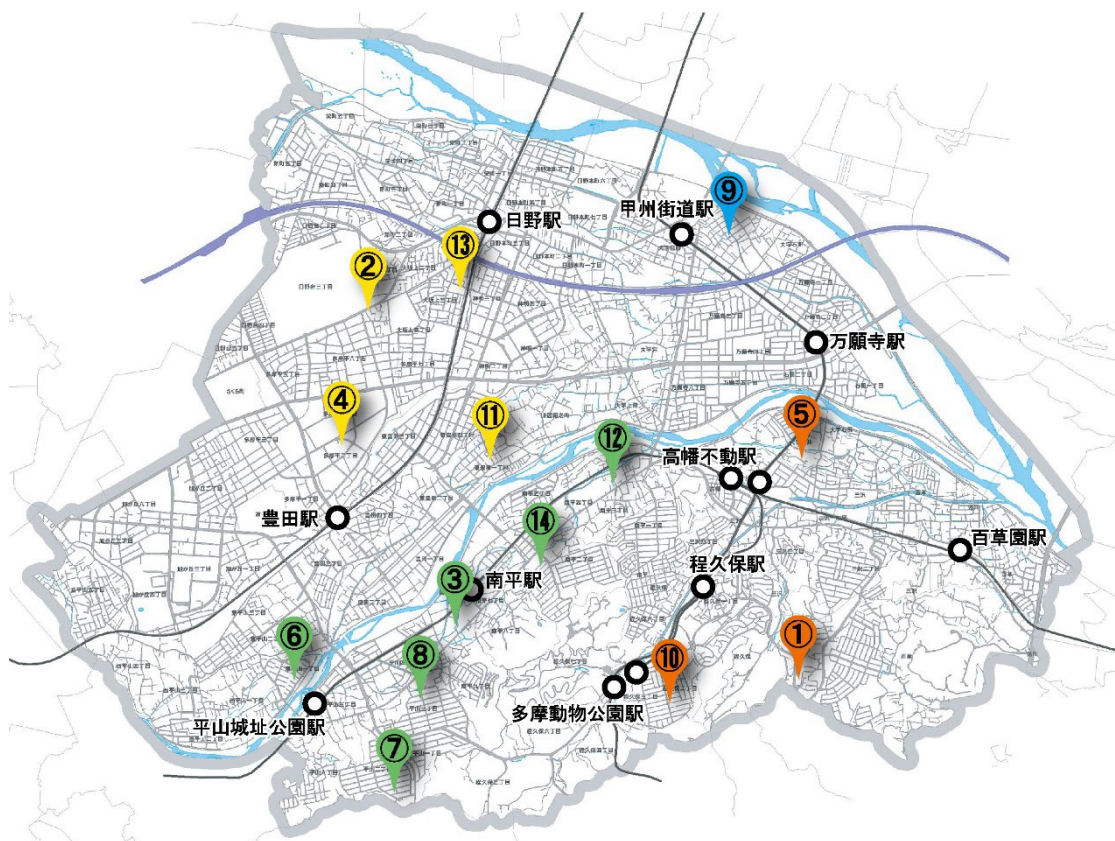
▼取組のイメージ



(2) 取組の実績

- ✧ 令和6年度初頭に「いちほ会でんでんハウス (⑬)」「ぷらっとカフェ (⑭)」が新たにオープンし、市内のサロンが合計 14 箇所が増えました。
- ✧ 既存の 12 サロンのうち半数超にあたる 7 箇所で来訪者数が増加しており、「楽しいサロン (⑥)」と「この街八坂サロン (⑫)」は過去最多の年間来訪者数となりました。
- ✧ 特に、一昨年度に開設した「この街八坂サロン (⑫)」では、来訪者数、オープン日数が継続して増加しており、活動がさらに成長している様子がうかがえます。
- ✧ 令和6年度に市内のサロンを訪れた人はのべ約 27.8 千人で、前年度からは約 3.8 千人増加しています。その内訳は、新規オープンの 2 サロンの来訪者約 1.8 千人、既存 12 サロンの増加分約 2 千人です。
- ✧ 一方で、5 箇所のサロンでは来訪者数が横ばいないし減少しており、「ひだまり (⑦)」と「アムール (⑩)」はそれぞれ合計 500 人前後の減少となりました。
- ✧ これらのサロンでは、オープン日数こそコロナ以前の水準まで回復しているものの、来訪者数の回復は足踏みが続いており、1 日あたりの来訪者数が 10 人/日前後にとどまっています。こうした傾向は、民家を利用して活動するサロンに多く見られます。
- ✧ 3 月には、各サロンの活動状況に関する情報交換と、サロン活動の中で見守りを行う方法に関する話し合いを狙いとしたサロン交流会を開催しました。

▼ふれあいサロンの位置



※丸番号はふれあいサロンとして支援を開始した順番を表す

▼ふれあい交流拠点の活動状況

◇ 週4日以上オープンなど高齢者の集まりやすさに対する配慮を求める。主に新規に高齢者の居場所づくりに取り組む場合を想定。

	①百草団地ふれあいサロン (平成20年4月開設)	②談話室ひなたぼっこ (平成19年4月移転) (平成20年度より支援開始)	③南平ふれあいサロン (平成20年度から支援開始) *開設は平成13年11月、平成23年7月にはリニューアルを実施している
場所	百草999 百草団地281号棟116番	大坂上4-20-18 1階	南平7-16-14
活動	活動頻度：週4～5日 オープン日：242日 来訪者：のべ6,192人	頻度：週3～4日 日数：192日 来訪者：のべ1,508人	活動頻度：週4日 オープン日：195日 来訪者：のべ2,174人
			

	④よりみちさくら (平成21年6月開設)	⑦平山ふれあいサロンひだまり (平成28年4月開設)	⑧平山ふれあいサロンソレイユ (平成28年7月開設)
場所	多摩平2-6-1 多摩平の森さくら集会所内	平山2-7-1	平山3-12-1
活動	活動頻度：週4日 オープン日：196日 来訪者：のべ1,905人	頻度：週4日 日数：178日 来訪者：のべ1,603人	頻度：週4日 日数：194日 来訪者：のべ3,549人
			

	⑨明星地区つながりの家アムール (平成30年4月開設)	⑪いちほ会でんでんハウス (令和6年4月開設)
場所	程久保2-6-14	大坂上3-21-20
活動	頻度：週4日 日数：約236日 来訪者：のべ1,785人	頻度：週4日 日数：116日 来訪者：のべ814人
		

※ 各サロンの丸番号は支援開始の順番を表す(16ページの図と対応) / 支援開始の時期はサロン名称の下に「支援開始」または「開設」年月を記載する

▼ふれあい交流活動の活動状況

◇ ふれあい交流拠点の基準には満たないが、自主的な運営により高齢者の交流の場として機能しているような既存の活動を想定。

	⑤南新井ふれあいサロン (平成 22 年 7 月開設)	⑥楽しいサロン (平成 24 年 1 月開設) (平成 25 年度より支援開始)	⑩この街八坂サロン (令和 4 年 4 月開設)
場 所	新井 650-2	東平山 1-7-9 平山住宅 9 号棟 1 階	南平 4-8-6 南平地区センター
活 動	頻 度：週 3 日 日 数：145 日 来訪者：のべ 1,757 人	頻 度：週 1～2 日 日 数：122 日 来訪者：のべ 1,607 人	頻 度：週 3 日 日 数：143 日 来訪者：2,343 人
			

	⑫ぶらっとカフェ (令和 6 年 4 月開設)
場 所	日野市南平 2-61-28 ゆたか荘 102
活 動	頻 度：週 2 日 日 数：96 日 来訪者：のべ 990 人
	

※ 各サロンの丸番号は支援開始の順番を表す（16 ページの図と対応）
支援開始の時期はサロン名称の下に「支援開始」または「開設」年月を記載する

▼ふれあいサロン交流会

- ◇ 普段は別々に活動している各ふれあいサロンのスタッフの方々が、年に1回互いの活動状況に関する情報交換や悩みごとの相談、交流などを行う会合を以下の通り開催しました。
- ◇ 当日は、日野市消費生活センターから講師を招いて、詐欺被害に関する注意喚起を行いました（次頁でも当日の様子を紹介しています）。
- ◇ その後、テーブル毎に互いの活動状況を紹介しあって交流を深めながら、活動をして良かったことや現在の悩みごと等の踏み込んだ情報交換を行いました。

開催日時	令和8年1月19日（月）14：30-16：00
開催場所	日野市役所職員休憩室
参加者	<u><ふれあいサロン関係者></u> ：15名 <u><ゲスト講師></u> ：1名（日野市消費生活センター） <u><事務局></u> ：日野市、委託事業者
プログラム	1. 開会 2. 情報提供 ・日野市高齢福祉課より ・日野市消費生活センター 「悪質商法や詐欺被害にあわないために」 ・質疑応答 3. 情報交換・交流タイム ・テーブル毎に話し合い 「詐欺被害に関する周囲の状況等」「各サロンの活動について」 ・全体発表 4. その他

【各サロンの活動状況】

自宅に人を招く代わりにサロンで集まるという方が多いです。

うちのサロンではただおしゃべりをして帰るという人はいません。何もしないと人が来てくれないので、毎日午前・午後に何らかのサークルが活動しています。

うちのサロンは特に何をするというものはありません。井戸端会議がメインですが、終了時間の15時になってもなかなか帰らない方ばかりです。

地域の人を先生にした連続講座を始めました。最後の30分はお茶会にしていますが、これが人をつなげる時間になっています。

【サロンの自慢等】

サロンに来ると知り合いが増えるので自然と相手のことを気にかけるようになります！

ひの筋体操はもちろん、輪投げには点数計算などもあるため、これらの活動に参加している方はみな元気！

4月に10周年を迎えるため、記念誌を発行することを予定しています！

【悩みごとの相談】

来てくれる方もスタッフも80代が多いため、入り口の段差が少し危ないと感じています。

⇒利用者にアンケートをとってニーズを明らかにするのが良いのでは。

来てくれるのは9割が女性の高齢者。男性にも来てもらうにはどうすれば良いでしょうか。

⇒うちでは麻雀をやっています（実は女性に人気があります）。
 ⇒歌は男女問わず人気があるのでお勧め
 ⇒女性スタッフの夫を連れてきて、男性同士で話ができるようにするのも◎。

コラム 詐欺被害から周りの人を守りましょう！

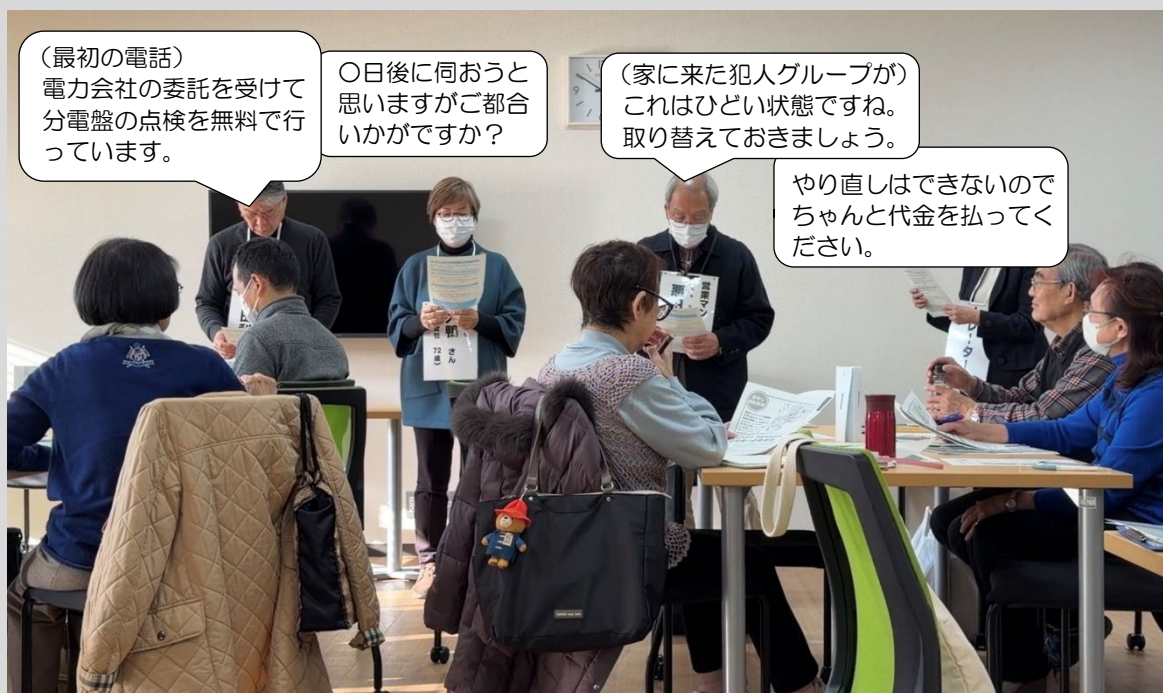
ふれあいサロン交流会では、参加者の方がよくある詐欺の手口を再現するロールプレイも実施しました。

ロールプレイでは、リフォーム詐欺グループのアポインター 発田利さんが被害者 大嶋さんのお宅に電話をして強引に訪問日を決める場面から、後日、営業マン 悪田さんが大嶋さんのお宅に来て勝手に工事をしてしまい、郵便局まで連れて行って代金を支払わせる場面までを台本に沿って演じました。

ロールプレイの最後には、日野市消費生活センターの講師の方から、こうした電話がかかってきた場合の注意点や、こうした被害にあってしまった場合の対応として日野市消費生活センター及びクーリング・オフ制度の紹介がありました。

▼消費生活センターとクーリング・オフ制度

- ◇ クーリング・オフ制度とは、訪問販売などにおいて、消費者が契約後に冷静に考え直す時間を与え、一定の条件のもとで一方的に契約を解除できる制度です。
- ◇ 訪問販売等の場合には、商品を受け取った日から 8 日間は適用期間となるので、困ったとき、おかしいと感じたときは「ひとりで悩まず、まず相談」してください。
- ◇ 消費生活センターでは、悪質商法、商品やサービスの契約に関するトラブル、商品の品質や安全性、不当請求など、消費生活に関するさまざまな問題について、専門の消費生活相談員が問題解決や被害防止のためのアドバイスを行っています。



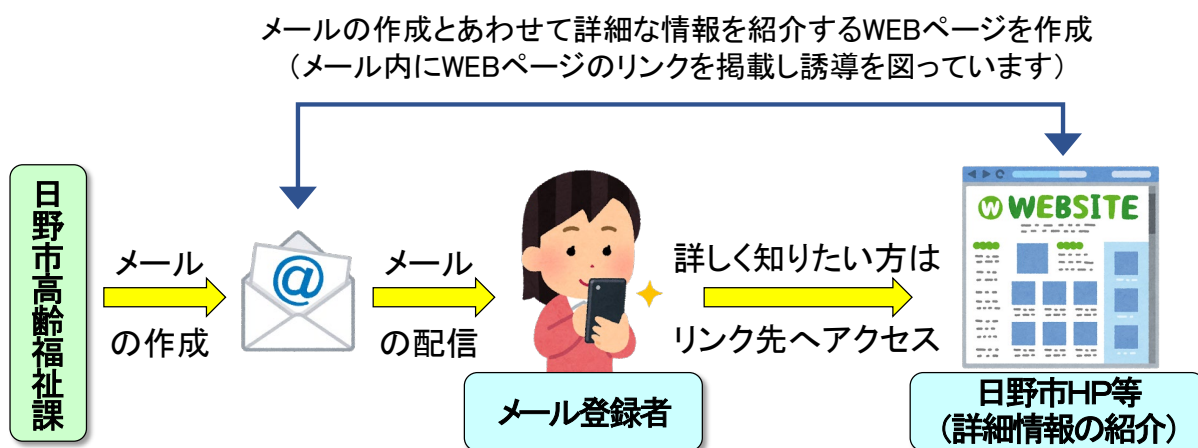
1-2-4 見守りメール配信

(1) 取組の概要

日野市では認知症の高齢者が行方不明になった際に、対象の方の情報をメールで発信して早期の発見・保護につなげる「行方不明者情報メール配信サービス」を行っています。見守り支援ネットワークでは、この登録者に対して、見守りのコツ等の情報発信を行っています。「ふれあい見守り推進員」等よりも簡単に登録ができる仕組みを通じて、地域の見守りに関する意識啓発が狙いです。

この取組は令和2年度からスタートし、複数のメール形式（HTML形式とテキスト形式）で提供したり、動画やPDFファイルの補足資料をつけたりといった試行錯誤を現在も続けています。

▼「メール配信」のイメージ



※メール配信には、日野市行方不明者情報メール配信サービスと同一のシステムを活用しているため、メール登録者には見守り関連情報の他に、行方不明者情報も届きます。(どちらかのサービスの受取を拒否している方を除く)

(2) 取組の実績

令和7年度は、以下の合計3通のメールを配信しました。

年度の前半には、季節にあわせた注意喚起と見守りのポイントの紹介、年度の後半には前年度から準備をしていたふれあいサロンの紹介を、動画の修正を行った上で配信を行いました。

以下の各号では、ガラケーでもある程度見やすくなるように本文の文字数を抑制する一方、詳しく知りたい方向けの動画やPDFファイルの補足資料を必ず付けるように配慮しています。また、メールの最後には、見守り支援ネットワークの案内や、取り上げて欲しいテーマ等を投稿できるWEBフォームのリンクを掲載しています。

▼メールの内容と配信スケジュール

日程	テーマ	内容
令和7年 6月号	猛暑到来！ 熱中症を見逃さず自分と周りの 人の命を守りましょう！	・ 要注意の熱中症の症状 ・ 熱中症対策の基本 ・ 周りの方への注意喚起のお願い ・ 普段からできる対策
9月号	9月は「認知症を知る月間」！ 認知症について学んでみませんか	・ 認知症月間の概要 ・ 認知症月間に行われているイベント等の情報 ・ もっと学びたい方向けの情報
令和8年 2月号	高齢者見守り支援ネットワーク について⑦ 日野市内の“見守り”事例の紹介～この街八坂サロン	・ ふれあいサロンの概要 ・ この街八坂サロンの概要紹介 ・ サロンに関連するお願い（気になる高齢者がいる方向け、サロンをやってみたい方向け） ※サロンの実際の様子を紹介する動画もあり
準備中	高齢者見守り支援ネットワーク について⑧ 日野市内の“見守り”事例の紹介～百草団地ふれあいサロン	（ 上記と同様の内容で、百草団地の概要紹介と実際の様子を紹介する動画を準備中 ）

▼見守りメール配信 令和7年9月号の概要

配信時期	令和7年9月17日
件名	【見守り関連情報】9月は「認知症を知る月間」！認知症について学んでみませんか

▼見守りメール配信 令和7年9月号の内容

9月は「認知症を知る月間」です！

認知症について学ぶ機会になるように、日野市での取組について紹介します。

認知症のあるひと、そうでない人も安心して暮らせる地域社会を作るためには、認知症への地域の理解が必要不可欠です。

認知症について理解を深め、地域での見守り活動に活かしていきましょう。

＝日野市では様々なイベントを実施しています＝

★「オレンジフェス2025」9/27（土）10時半～16時

イオンモール多摩平の森 3F イオンホールにて開催。

・午前の部：認知症のある方やご家族、支援者のトーク会

・午後の部：認知症とともに笑顔で生きる方の生活を描く実話に基づいた映画の上映会

★図書館での関連書籍の紹介

★市内公共施設でのパネル展示

★「認知症サポーター」養成講座・ステップアップ講座

★RUN 伴日野 11月2日（日）10時頃～

⇒詳細はこちら（日野市ホームページ）：

<https://www.city.hino.lg.jp/fukushi/kourei/1009549.html>

＝もっと学びたい方向けの情報＝

★認知症〇×クイズ（PDF 資料）

<http://bit.ly/3Kkc9Q0>

★認知症「知って安心ガイドブック」（PDF 冊子）

https://www.city.hino.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/022/196/202504-2.pdf

★行方不明者を見つける手がかり（動画／再掲）

<https://youtu.be/FzhgiNDM1uk?si=s9IUSezmzSb8vg1S>

★心配な方を見つけた場合の声のかけ方（動画／再掲）

<https://youtu.be/FxD4rDB6Rhk?si=ZnjOqS8Z3rGCk3Kj>

＝お知らせ等＝

★見守り活動の担い手を募集しています（見守り支援ネットワークのご案内）

<https://www.city.hino.lg.jp/fukushi/kourei/torikumi/1003577.html>

日野市役所 健康福祉部 高齢福祉課

在宅支援係

★見守り関連情報の配信停止はこちら

<https://r18.smp.ne.jp/o/Pg/28565159/iHL0k6H7ciOD/out?stop=lioh>

▼「もっと学びたい方向けの情報」として掲載している資料

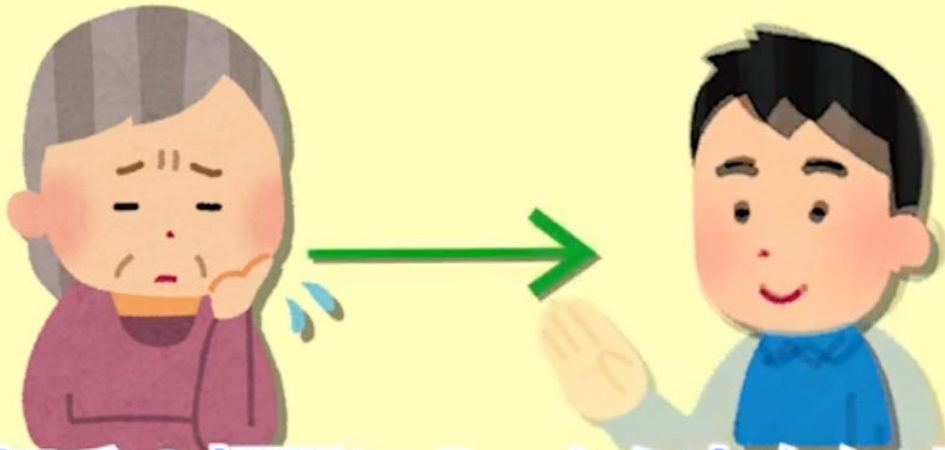
認知症〇×クイズ ～〇をつけるならa④bどちら～ 認知症の基礎知識や対応をクイズ形式にまとめました【全8問】。 表面に書かれた質問の答えが裏面に書かれており、このデータを両面印刷して点線の位置で切り離すとトランプのようなカードになります。 認知症に関するおさらいをしたい方、家族や地域の中で認知症について話をするきっかけを探している方は是非ご利用ください。 詳しい使い方は裏面を参照のこと。	カードの使い方 ① カードを机の上に並べる* ② 最初の方がカードを1枚取り上げる ③ 選んだカードを読み上げて、a④bのどちらが正しいと思うかを回答 ④ カードを裏返して全員で答えを確認 ⑤ ②～④の作業を順番に行いながら、気になることを話し合しましょう！ ※ 人数が少ない時は予め参加者にカードを配って②～⑤の順に進めてもOK 派手に間違えた方が他の人の記憶に残ります。正誤を気にせず思い切ってa④bどちらかを選んでください！	認知症ってどんな病気？  a 原因となる病気によって色々な種類がある b 「認知症」という1つの病気がある(症状は1つ)	a 認知症は、脳の病気や障害のために記憶や思考などの能力（認知機能）が低下した状態を言います。 最も多いのは「アルツハイマー病（アルツハイマー型認知症）」で、他にも原因となる病気によって色々な種類があります。
---	--	---	---

こんな方は認知症による徘徊かも②



散歩とは思えない雰囲気がある

②面識がない相手には



相手の視野に入ったら声をかける

▼見守りメール配信 令和8年2月号の概要

配信時期	令和8年2月5日
内 容	【見守り関連情報】高齢者見守り支援ネットワークについて⑦ 【日野市内の“見守り”事例の紹介～この街八坂サロン】

▼見守りメール配信 令和8年2月号の内容

これから数回にわたって日野市内で実際に行われている見守り活動をご紹介します。
今回は、市内に12箇所ある「ふれあいサロン」の1つ「この街八坂サロン」です。

＝ふれあいサロンとは
地域のボランティアの方々が運営する「地域のたまり場」です。
いつでも気軽に立ち寄れる場所をつくり、高齢者をはじめとする地域の多様な人が集まって
交流することで、「自然に地域内の見守りができている」状態をつくりあげることを目指して
います。

⇒ふれあいサロンの概要、地図はこちら（日野市HP）

<https://www.city.hino.lg.jp/fukushi/kourei/torikumi/1010625.html>

＝この街八坂サロン

★サロンの概要

おしゃべりをしながら体操や歌を楽しんでいます！

所在地：南平4-8-6 南平地区センター（八坂神社境内）

開設日：第1、3、5（月）13:00～16:00

第1、3、5（木）10:30～16:00

第2、4（木）10:30～12:00

毎週（金）9:30～16:00

第3（土）13:00～16:00

参加費：100円/回

⇒実際の様子をこちらの動画で是非ご覧ください（YouTube/約4分）

<https://youtu.be/34RKlqh-gJA>

＝皆さんへのお願い～サロンを通じた見守り活動～

★周りに気になる高齢者がいる時は…

最寄りの「ふれあいサロン」に誘ってみることをご検討ください。その方をみんなで見守る
ことができるだけでなく、家から外に出て楽しくおしゃべりをすることが心身の健康につな
がります！まずは一度、お一人でも構いませんので「ふれあいサロン」を覗きに来てみてく
ださい！

★自分達でもサロンをやりたいという方は…

高齢福祉課では、サロン活動費の助成等の運営支援を行っています。まずは一度高齢福祉課
までご相談ください。

＝お知らせ等＝

★見守り活動の担い手を募集しています（見守り支援ネットワークのご案内）

<https://www.city.hino.lg.jp/fukushi/kourei/torikumi/1003577.html>

★他に取り上げて欲しいテーマがある方はこちらまで（ご意見ご感想も募集中）

⇒WEB フォーム

<https://forms.gle/PUGhwSyU152GWGon8>

⇒FAX：042-583-4198

日野市役所 健康福祉部 高齢福祉課

在宅支援係

★見守り関連情報の配信停止はこちら

<https://r18.smp.ne.jp/o/Pg/30683672/GgWzChH7ciOD/out?stop=lioh>

▼「この街八坂サロン」の実際の様子を紹介する動画（サムネイル）



▼次に控える「百草団地ふれあいサロン」の実際の様子を紹介する動画（サムネイル）



第2章「より良いネットワークの構築支援」

2-1 取組の概要

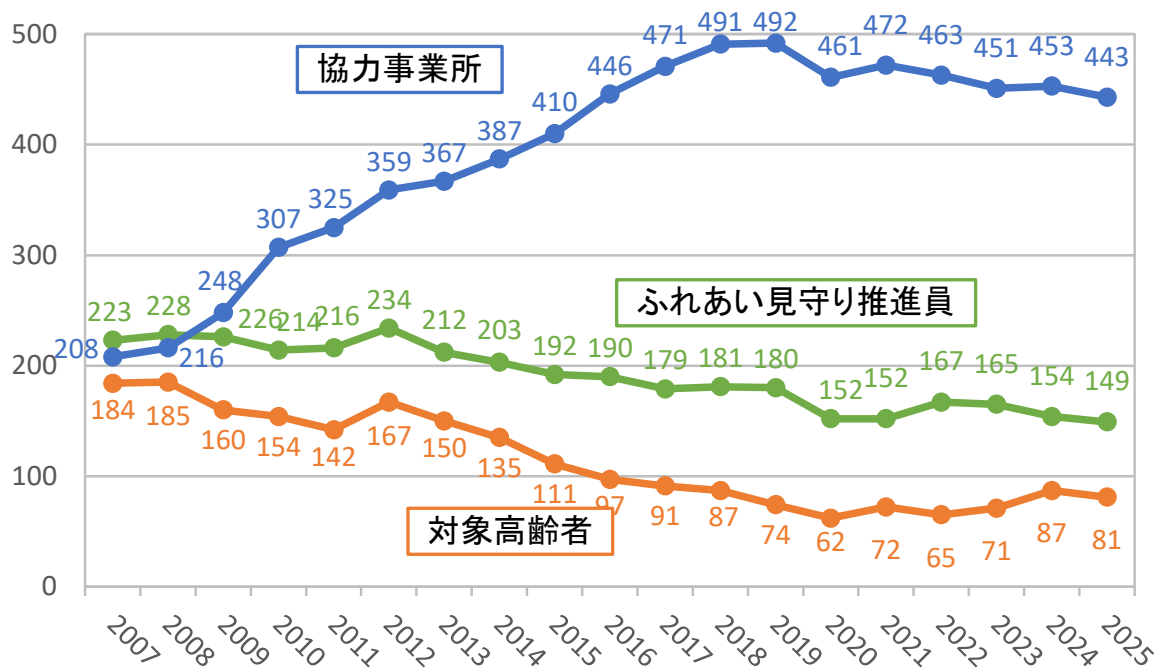
見守り支援ネットワークでは、前章で報告した各取組の実行・改善や、平成22年度より企画検討をはじめた“気かけ”運動のさらなる周知・普及、見守り支援ネットワーク全体に関する市民啓発など、地域の中で高齢者を見守り、支える仕組みや体制づくりに取り組んできました。

近年は、対象高齢者やふれあい見守り推進員等の協力者の減少が続いている状況を踏まえて、“見守り支援ネットワークの再構築”に取り組んでおり、『“相手を特定しない見守り”を行うふれあい見守り推進員の登録を強化する』取組を進めています。

令和4、5年度は、ふれあい見守り推進員に登録してくれそうな方、登録済みの方を対象に“相手を特定しない見守り”を中心とするふれあい見守り推進員の活動を学ぶ機会を設けてネットワークの拡大や強化を図りましたが、令和6年度からは、「ふれあい見守り推進員」以外にも「ふれあいサロン」や「ちょこすけ」のような交流やお手伝いを通して“見守り”を行っている活動まで対象を広げ、“地域の特徴にあわせた見守り活動を拡大する”という方針でネットワークの構築支援を進めています。

令和7年度は、令和6年度にまとめた計画に基づいて、地域包括支援センターが各担当地域で実際に見守り活動を支援・拡大する取組を実践しています。

▼登録数の推移【参考】



2-2 各取組の実施状況

2-2-1 地域の特徴にあわせた見守り活動の拡大

(1) 取組の概要

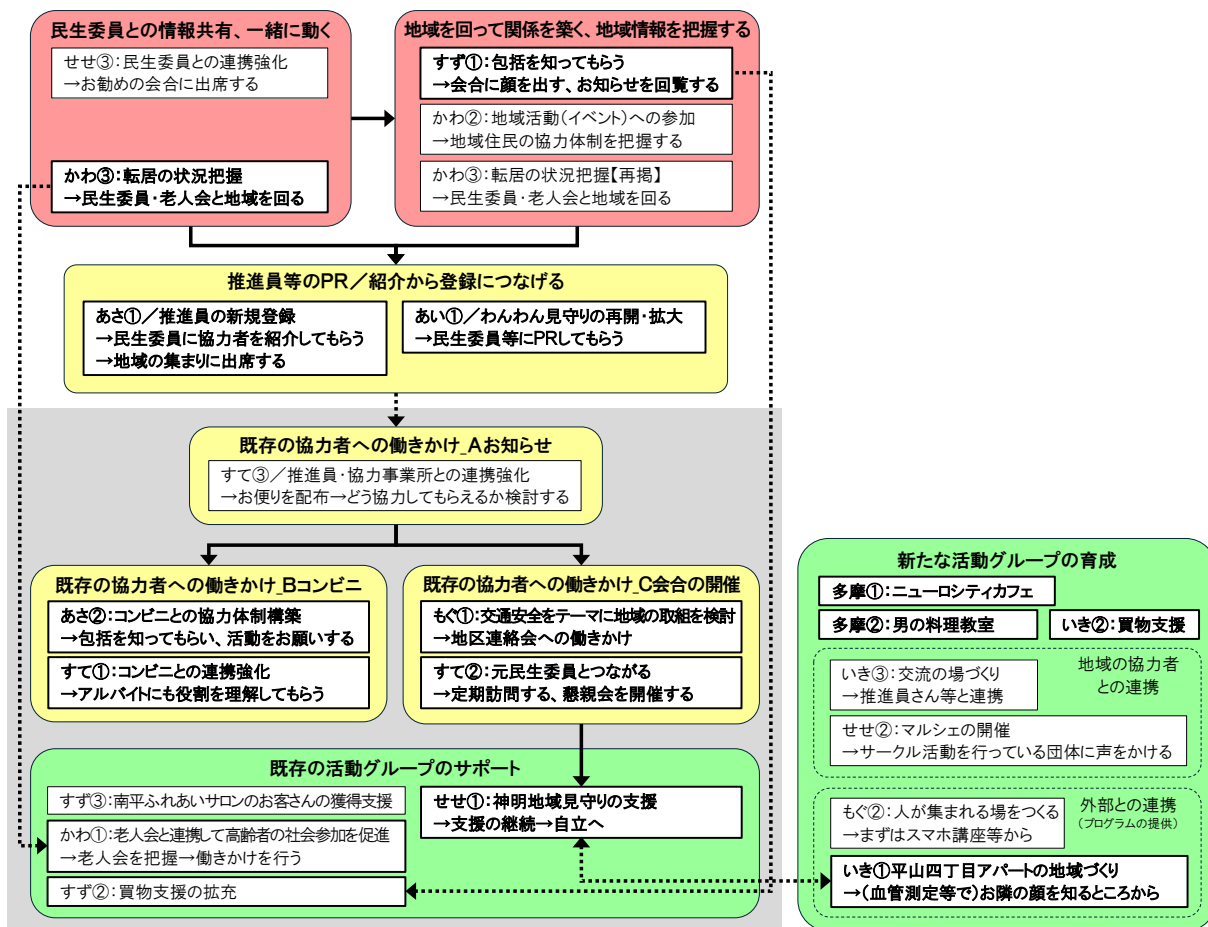
令和7年度は、令和6年度にまとめた計画（下図参照）にもとづいて、地域包括支援センターが各担当地域の中で行われている様々な活動を把握したり、協力関係を築いたり、育成をしたりという取組を通じて、見守り活動を支援・拡大する＝見守りの網の目を細かくするための作業を具体的に進めました。年度末には、1年間の取組を振り返って次年度の計画をまとめています。

こうした作業は「見守り支援ネットワーク検討部会」(3-2-1)の中で進めています。

▼地域包括支援センターが各担当地域において見守り活動を拡大する取組の計画 (令和6年度にまとめた内容)

取組の分野と作業ボリューム／難易度を以下の通り整理しています。

- ✧ ①顔つなぎ（実態把握～包括のPR）：難易度低（赤）
- ✧ ②新しい協力者・事業者等の登録など：難易度中（黄）
- ✧ ③地域の活動グループのお手伝い：難易度高（緑）



(2) 取組の実績

ここでは前ページに示す①～③の主な取組と、年度末にまとめた次年度の計画の概要を掲載します。

▼①顔つなぎ（実態把握～包括のPR）

◇ 地域活動への参加：

地域のお茶会や体操教室・ラジオ体操、お祭り等の催しの情報を収集して地域包括支援センターの職員がお邪魔しています。

ここで出会った方に包括のことを知ってもらうだけでなく、その地域の住民のつながりの状況を把握することができました。

◇ PR資料の配布：

地域包括支援センターのお知らせを定期的に発行して、担当地域内の各自治会や左のイベント等で会った方に配布しています。

お知らせに掲載している各種催しへの参加人数が増えており、包括の存在や活動が地域に浸透していることを実感しています。



▼②新しい協力者・事業者等の登録など

☆ わんたま／わんわん見守りの拡大：

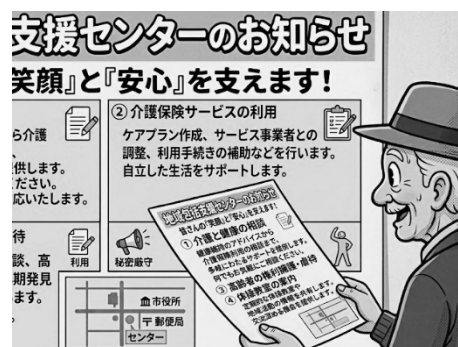
犬の散歩等で地域をよく歩いている方に、散歩のついでに地域を見守ってもらうようお願いしています。

今年度も新しい協力者の方を見つけたり、新たに協力者同士が集う「隊員ミーティング」を開催したりすることができました。

☆ コンビニとの協力関係の強化：

包括への連絡方法が一目で分かる資料を作成して、高齢者との接点が多い事業所の1つであるコンビニを訪問して回りました。

登録済の店舗には改めて協力依頼を行ったほか、複数の店舗に「協力事業所」へ新規登録してもらうことができました。



日野市内のセブン-イレブンの皆さまへお願い

こんなお客さんはいませんか？

～困ったことがあったら気軽にご連絡ください～

気になるお客さんの相談がしたい

対応に困っているお客さんがいる

いつも来るお客さんの様子が普段と違う

病気やけがなどで命の危険を感じる

事件や事故が疑われる

緊急事態！すぐお店に来てほしい

たとえば…

- ひとりで買い物できない
- 話す内容や服装が変
- よくふらふらと歩く

たとえば…

- 急に元気がなくなった
- 体の調子が悪そう
- ひとりで帰る心配

たとえば…

- とても痛がっている
- 体がふらふら
- 立ち上がれない

地域包括支援センター もぐさ

☎ :042-599-0536

○受付時間：月曜日～金曜日 午前9時～午後6時
(祝日および12/29～1/3をのぞく)

○担当地域：百草・瑞穂・程久保(1～8丁目を除く)
・三沢2丁目・三沢1299～1294番地

消防署 119

警察署 110

119と110以外の夜間の連絡先

日野市役所(当直室)

☎ :042-585-1111

連絡をするときに伝えてほしいこと

- お店の名前(セブン-イレブン○○店)
- 同僚が来たか(お客さんの様子など)
- 真実に気付いた時間(連絡の○分前など)

確認できたお客さんの情報も伝えてください

- お名前や年齢、住所

■ 高齢者以外のお客さんに関する連絡先 (月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時)

子どもに関する連絡は…

日野市子ども家庭支援センター

☎ :042-506-2152

✉ : hohoem@city.hino.lg.jp

障がい者に関する連絡は…

日野市障 害福祉課

☎ :042-514-8489

✉ : syogaif@city.hino.lg.jp

セーフティネットコールセンター

☎ :042-514-8542

✉ : s-net@city.hino.lg.jp

《発行》日野市役所高齢福祉課 (在宅支援係)

〒191-0016 日野市神明 1-12-1 市役所二階 ☎ :042-514-8496 ✉ : kourei_zaitaku@city.hino.lg.jp

「かあったらまず包括へ」

活支援センターのご紹介

とその家族を支援するために設置された介護・福祉・「」となる専門機関です

無等に関わらず誰に関する内容でも、またご近所や地域情報提供・相談にも対応します

野市が民間の医療福祉法人等に委託して設置しており、情報提供や相談としてはならないという守秘義務(秘密保持義務)が課せられています

包括支援センターがあり、それぞれ担当地域が決まっています

域包括支援センターができること

電話でアドバイスをしたりすることができず

分かれれば、後からその高齢者のお宅を訪問して支援(誰から連絡があったかを明かさずに訪問します)

を受けたりしたことがある方については、離れて暮らす家族と共に関与もします

家は…

困りごと、不安等を聞き取って、その方が日常生活を継続できお手伝いをします

きた方が介護保険を利用できるよう調整したり、ご近所の方に手伝いをお願いしたりすることができます

ーム等の施設、介護サービス事業所、警察・消防や行政機関、や老人会等と連携し、支援していきます

ンターのその他の業務内容【参考】

マネジャー、社会福祉士、保健師等の専門職がチームとなって業務を行っています

【介護・福祉】

ケアマネジャー等と連携して高齢者やご家族の日々の暮らしを支援します

【健康・介護予防】

フレイル(加齢による虚弱)予防や介護予防教室などを実施します

【権利擁護】

高齢者に対する虐待や詐欺行為、財産管理などに対応します

地域包括支援センター

▼③地域の活動グループのお手伝い

◇ 新しい催しの企画・開催：

健康をテーマにした集まりを開催してきた地域では、新たに「健康体操と昭和の歌」を開催して 20 名の参加がありました。

食事会を企画中、地域の方からスマホ教室の要望があったためセットで開催して 30 名に参加してもらうことができました。

◇ その他にも…

ふれあいサロンや移動販売のお手伝いをしている方々の後方支援を行っています。このように、人が集まり自然と見守りができるような場所を地域の方と相談しながらつくり発展させることを目指しています。



▼今年度の取組の評価と今後の計画_1/2

- ◇ 令和7年度に実施した 24 の取組を振り返って、次年度はどうか、具体的に
- ◇ 既存の 24 の取組は「継続」20、「拡大」4、他に「新規」が5つ生まれました。
- ◇ 「拡大」「新規」は「地域の活動グループのお手伝い」の取組が多くなっています。

▼今年度の取組の評価と今後の計画_2/2

	取組内容	評価		方向性	今後の計画	
		うまくいったこと	うまくいかなかったこと (できなかった、やっつけられようましかつた等)		次年度の取組(案) (「休止」「廃止」の場合はその理由)	優先 順位
もぐさ	優先順位①:交通安全をテーマにした地域での見守り支援を検討する。	●むぐさ地域の見守り支援の状況について改めて共有することができた。 ●地域の繋がりに関する課題を話し合うことができた。	●見守り支援については具体的な話し合いにならなかった。	継続	●3月の地区連絡会にて反射板や安全教室に対する要望を開きとりする。	1
	優先順位②:地域全体で1箇所集まる場所をつくる(人が集まるきっかけとなるスマホ講座の開催などを検討)	●民生委員さんや地域住民に情報を伝えられた。(抱っこボランティアに繋げた方がいた)	●やりたいことのイメージがあっても形にする作業に費やす時間がなかった。	継続	●協力事業所間で繋がりがもてるような機会をつくる。 ●地域のケアマネージャーにも情報提供をしていく。	2
あさかわ	優先順位①:見守り推進員の新規登録	●見守り推進員の新規登録につながることができた。	(特になし)	継続	●見守り推進員、民生委員の意見を聞いて、活かせることがあれば、取り入れる。	1
	優先順位②:コンビニとの協力体制構築(従業員の方に包括のことを知ってもらう)	●一通り圏域にあるコンビニを全部訪問し、あいさつすることができた。	●1回だけの訪問のため、あまり効果がないと思われる。	継続	●オーナーがいる時間帯を合わせて、訪問し、包括の認知度を高める。	3
				新規	タイトル:薬局の協力を得る。 箇所:圏域にある薬局。 進め方:訪問し、あいさつする。包括に関する資料を置かせていただく。	2
すてっぷ	優先順位①:コンビニとの協力体制の見直し	●1店舗より、見守り支援への登録について前向きにご返答をいただくことができた。 ●既に見守り支援ネットワークに登録しているコンビニがあることが判明し、改めて協力事業所ステッカーを渡した。	●既に見守り支援ネットワークと同様の活動を実施しているため、敢えて登録は行わないのご返答をいただいた。	継続	●見守り支援ネットワークの取組や地域包括支援センターの役割について引き続き理解と協力を得られるよう、コンビニのオーナーや店長に働きかけを行う ●検討中の店舗への働きかけを続ける。	2
	優先順位②:既に絆めている民生委員へ協力してもらえよう働きかける	●R7年12月の新旧民生委員の引継ぎ後、新旧民生委員が旧民生委員から地域の情報を持っている状況が確認できた。このことから、今後は旧民生委員に対しても見守り支援への働きかけを行うことが可能であると考えられる。	●現民生委員と旧民生委員との間につながりがないとの回答もあり、旧民生委員への働きかけは行えなかった。	継続	●新旧民生委員の引継ぎや、現民生委員との協力員連絡会を通じて、引き続き働きかけを実施していく。	3
	優先順位③:見守り推進員や協力事業所に、どう協力してもらうか、連携を取っていくを検討する	●地区連絡会の開催により、協力事業所の開拓に加え、地域に求められている活動内容や、新たに協力が期待できる関係者について検討することができた。 ●コンビニへは日野野で実施している見守り支援ネットワークの趣旨をご理解していただくことともに、協力および連携の仕組みについてもご理解いただくことができた。	●今後どのように行っていくか検討中。	継続	●見守り支援ネットワーク地区連絡会を通じて、見守り支援の重要性について理解を深めていただくことともに、新たな協力事業所の開拓も視野に入れ、既に登録している事業所への働きかけを一層強化していく。	1
	優先順位④:わんわん見守り隊活動再開と地域の拡大 ※コロナ後のテコ入れとして、活動再開だけでなく新規協力者の獲得も目指す	●停滞していた活動の再開 ●登録者の整理ができた ●ミーティングには7匹の隊員と飼い主が参加してくださり交流の機会となった	●新規登録が思う様に増えていない。	継続	●第2回ミーティングを開催するため開催内容について検討する。 ●登録犬を増やす方法を検討し実行する。	1
あいらん	優先順位②:協力事業所の登録数100件(長期目標)	●数店舗だが新規登録事業所あり ●見守り推進員連絡会に協力事業所にも声をかけ出席してもらった	●ボスティングは効果なし ●登録廃止事業所もあり今年度の目標である90件には至らなかった。	継続	●新規店舗の情報収集 ●直接事業所へ訪問し依頼。 ●見守り連絡会への声かけ	2
せせらぎ	優先順位①:神明地域見守り(の支援→自立)	●見守りメンバーのスキルアップ:認サボステップアップに端を発し、神明地区の火事直近の出来事として大きい関心を持って学ぶ姿勢を作れた。 ●神明地区の再発見、新しい視点で地域を見ることが出来た。	●お散歩マップ作製:見守り隊のメンバーから案として出された散歩コースの下見をし検討段階まで進んでいる ●よりみちスポットの手伝いや開催時の参加をするが活用方法や広げ方を検討する内に閉鎖してしまった(地域づくりの一案として良い視点も得られた)	継続	●R8年2月には、神明での火災を受けて防災講習を行うことになっている。見守り推進員からの声で実現したこともあり、今後も推進員主体で展開していきけるように促していきたい。	1
	優先順位②:マルシェ等の開催	●需要を確認できた(スマホと食事会の参加者からは次回開催を熱望される)	●新町1丁目アパートへは時間をかけて第2層SCとも協力してアプローチをかけていく必要がある、すぐに手を付けていくことが難しい。	継続	●自立支援に向けた地域ケア会議の場で『タクシーアプリがない』とタクシーが呼べないときがある』という課題があった。それを受けて、『スマホ教室と食事会』でタクシーアプリについても取り扱うのか、『スマホ教室と食事会』の継続可否と共に検討する予定。	2
	優先順位③:民生委員との連携強化(紹介してもらう)	●民生委員から『老々介護の殺人事件』をきっかけに、現代の課題について話し合いたい、との声が上がった。		継続	●民生委員からの『老々介護について』の課題をどこかのタイミングで話し合う機会を設けるかもしれない。	3
	優先順位④:ニューロシティ体操教室の立ち上げ	●月2回開催している ●包括職員が時々、様子を見に行く		継続	●ニューロシティの集会所で運動活動を展開したい	5
多摩川苑	優先順位②:男性の食事会または料理教室	●従来の発想と違う形になったが、スマホ教室と抱き合わせで食事を開催した。高齢福祉課川尻氏が、広報を担当していただき、30名近くの人が集まった。		拡大	●定期的に開催できるような仕組みを作りたい	4
	優先順位①:わんたまの取組を拡大予定 ※掲示板に月1で掲示しているが、そこから先の活動が進められていなかった→認サボ受講して頂く。可能な限り見守り推進員への登録ご案内	●集まって何かをすることはできなかったが、わんたま専用のインスタグラムを活用することができた。		拡大	●Instagramを通じて、呼びかけし皆が集まる場所を作りたい。 ●包括判断で見守をお願いしたい地域住民が何人かいる。声掛けなくとも犬の散歩中に自宅前を通るよう声掛けしていきたい	3
				新規	タイトル:大塚体操のモデル 箇所:ひの園城 進め方:	1
				新規	タイトル:ACP 私の想い 箇所:多摩川苑全城 進め方:訪問の際に多摩川苑で作成した専用のシートを用いてACPに関する聞き取りを行う	2
いきいきタウン	優先順位①:平山4丁目アパートの地域づくり(お隣の顔を知るところから始める) ※隣の顔が分からない、外であつても名前が分からず包括に連絡できないの所あり(10月10日付で交流センターで開成中一都富間の交流はある程度できている)	●平山4丁目第2アパート集会所でのイベントについて自治会長と相談しながら開催できたことは住民同志の交流が少なからずできた。 ●また、4丁目第2アパート以外の方にも声かけを行ったことで同アパート住民同志以外の交流となり今後のつながりのきっかけとなった。	●住民同志の自主的な活動に繋がっていない。 ●主な目的として転居による顔が見えない関係となったことを改善し地域の支え合いを目標としているが同アパート住民の参加が低い。	継続	●引き続き自治会長、役員の意向を確認しながら、見守り支援の観点から住民同志のふれあいや気軽に声かけられるように少しでも住民同志の見守りに繋がるようにイベント開催など検討していく。	1
	優先順位②:平山1〜3丁目の買い物支援 ※第二層協議体の取組として実施	●やと公園ではボランティアの方が荷物を運んでくれるなど地域の見守りや交流を図るきっかけになっていること。 ●R8年1月からやと公園(月・水)であったが金曜日も追加となり、より地域の住民の状況を把握できるようになると考える。	●おさわ公園での地域の支援が難しく、高齢化率50%の地域である。	継続	●移動販売車がやと公園、おさわ公園に来ている時間帯に適宜訪問し、地域の見守りや移動販売員・ボランティアと情報交換を行っている。 ●地域でも買物支援による見守りの有効性を伝える企業の連携が継続できるように考えていく。	2
	優先順位③:地域のふれあいサロンなど交流の場作り	●少しずつ東平山の情報が得られた。	●多世代交流に繋がっておらず地域として見守りまでに至っていない。	継続	●今後どこにも限らず地域の見守りとして広げていくことができるのか地域の情報をあつながら検討していきたい。	3
	優先順位④:すずらんを知ってもらう	●すずらんが関与しているイベントなどへの参加人数が増加していること	(特になし)	継続	●継続予定	
すずらん	優先順位②:買物支援の拡充	●現在は、依頼件数・人数共に増加しているため、車をもう一台増やし、対応することを検討している。	●参加希望が多いため、近々で車を1台増やし、対応予定。	拡大	●継続予定	
	優先順位③:南平ふれあいサロンの新しいお客さんの獲得支援	●現状維持が上手くできている	●参加される方が固定化されてしまい、新規の方がなかなか集まらない。	継続	●継続予定	
かわきた	優先順位①:老人会と連携して高齢者の社会参加を促す ※支援を希望した方を送り込むのが狙い	●旭が丘のUR(シティハイツ)の業務委託者との交流が出来、集会所での介護予防教室の開催を行うことになった。また今後も、URの方との情報共有を行う事ができる。	●旭が丘の老人会との交流は持てなかった。	拡大	●UR(シティハイツ)で介護予防教室等開催して、住民のつながりなど把握していく。 ●旭が丘の老人会との連携を行う。	1
	優先順位②:地域活動への参加 →活動に活動しているところからは声がかからないが、老人会から介護予防教室の依頼が増えている	●お祭りやひの節体操・浅川バーベキューのイベントなどに参加して、住民のつながりなどの状況把握できた。 ●お茶会は回数を重ねるごとに参加者が増えて住民同志のつながりが良くなった。 ●これから体操も新たな参加者がある。	●かわりの持てなかった自治会や老人会があった。(川北クラブ・豊田団地シニアクラブ等)	継続	●現在参加中の体操やイベントなどは参加して住民状況の把握を継続する。 ●光の家のイベント会場を利用した催し物の検討を行う。	2
	優先順位③:転居の状況把握/民生委員・老人会との連携強化 ※特に前から住んでいて動いた人を知りたい		●区画整理により、新たな家や道路が出来て、住民の変化の把握が難しい。	継続	●協力事業所に気になる高齢者はいないかなど協力事業所の役割など説明する。 ●西平山1丁目の区画整理の地域に関しては区画整理工事の状況を見て動く。	3
				新規	タイトル:地域住民のつながりを深める 理由:地域の安全確保と住民のつながりを深める。 進め方:防災の意味を含めて地域の危険なところの把握・確認を行う。自転車もしくは徒歩。	
			新規	タイトル:地域住民の把握やつながりの場を作る 箇所:2か所 進め方:光の家のイベント会場やまちづくり協議会館を利用して介護予防教室等のイベントを検討する。		

コラム その他の新しい取組 ～“見守り”とSNSの関係は？

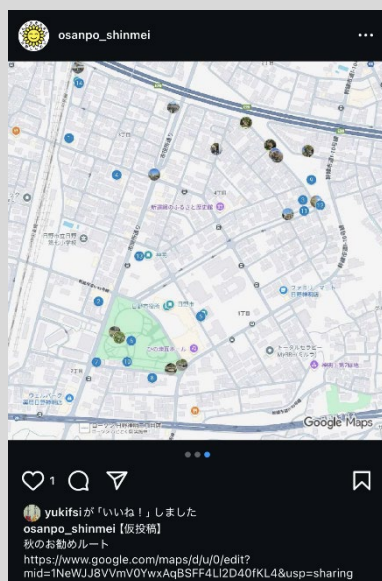
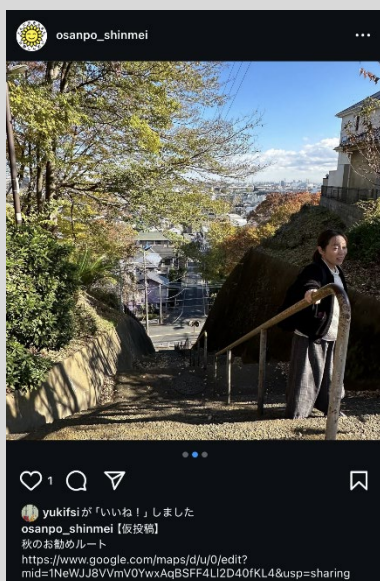
皆さんは“見守り”とSNS（ソーシャルネットワークサービス）と聞いて何を思い浮かべますか？これまでも一部では友人とのLINE（ライン）のやり取りを通じて安否を確認するという取組はありましたが、縁遠いものだと感じる方が多いのではないのでしょうか。ところが、令和7年度は2つの地域でSNSの1つ「Instagram（インスタグラム）」を活用した取組が生まれたのでご紹介します。

▼地域包括支援センター多摩川苑担当地域

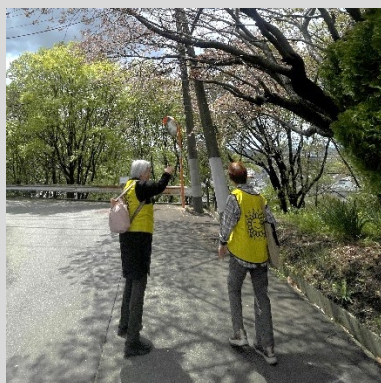
◇ 地域包括支援センター多摩川苑では、散歩のついで等に地域を見守る「わんたまま見守り隊」のPRと協力者の方々とより仲良くなることを目指して、登録した犬や猫をInstagramで紹介するという取組をスタート

▼神明地域（地域包括支援センターせせらぎ）

◇ 近隣の人たちがお散歩をして元気になったり、顔見知りになったりすることを目指して、地域の見どころとなるような場所や草花をInstagramに投稿するという取組をスタート



◇ 投稿に先立って、メンバーが考えたお散歩コースの候補を探索したり、コース上に休憩場所を設置したりするという準備も実施



2-2-2 地域資源に関する情報の収集等

(1) 取組の概要

見守り支援ネットワークでは、地域包括支援センター毎に地区連絡会、相談協力員連絡会等の会合を開催して、見守りの協力者である民生委員やふれあい見守り推進員との情報共有を図っています。

令和6年度は、地域の特徴にあわせた見守り活動を拡大する方策の検討材料を収集する目的でこうした地域の会合に参加しましたが、令和7年度は引き続き地域の情報を収集する場として、また民生委員やふれあい見守り推進員との連携強化を実践する地域包括支援センターの後方支援を行う場として、以下の会合に参加しました。

▼取組の内容

開催時期	取組項目	内容
令和7年 9月	もぐさ地区 地区連絡会	・地域包括支援センターがそれぞれの地区での取組や地域の課題、参加者の関心等にあわせて工夫を凝らしたプログラムを実施 ・その後方支援の1つとして、事務局からは令和5・6年度はつらつ・あんしん調査の結果をまとめた資料を配布して地域の高齢化の特徴や“見守り”を拡大する手がかりについて情報提供を実施
	あいりん地区 地区連絡会	
	すてっぷ地区 地区連絡会	
10月	せせらぎ地区 地区連絡会	
令和8年 2月	いきいきタウン地区 地区連絡会	
3月	もぐさ地区 地区連絡会	
2か月に1回程度定期的に開催	神明地区 有志による会合 (せせらぎ地区内)	(前ページのコラム参照)

(2) 取組の実績

連絡会では、各地区に共通する内容として、令和5・6年度はつらつ・あんしん調査の結果をまとめた資料を配布して地域の高齢化の特徴や“見守り”を拡大する手がかりについて情報提供を行いました。

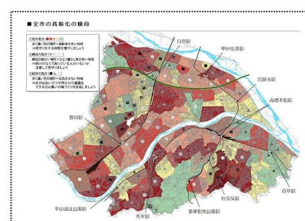
各地区ではその他にも、前年度と同様に地図を机の上に広げて情報交換を行ったり、調査結果を下敷きに意見交換・情報交換を行ったり、講師を招いて交通事故や災害のリスク等に関する情報提供を行ったり、様々な取組を行っています。

▼各地区に共通する内容

- ◇ 2年に一度集計・分析を行っているはつらつ・あんしん調査の結果を以下の3種の資料にまとめて情報提供を実施
- ◇ 特に、民生委員さんの担当地域毎に相対的に心配が多い／少ない地域とその要因として考えられる事項を紹介
- ◇ 担当地域別の集計結果一覧（民生委員さんのみ配布）については、令和4年度に調査票の見直しを行ったことを受けて、従前から一部内容を変更している（11 ページのコラムで紹介するリスク A～C に該当する人数も掲載している）

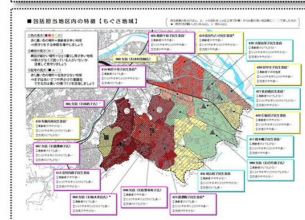
全市の高齢化の傾向

- ・ 日野市内で、心配な場所がどの辺りに分布しているかを確認することができます
- ・ 赤／黒色が目立つ場所は心配が多い地域、緑／白色が目立つ場所は心配が少ない地域です



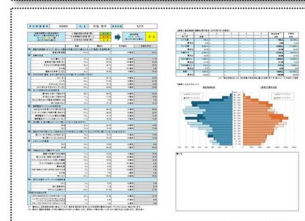
包括担当地区内の特徴

- ・ □□□の色分けで、その地域が他の民生委員さんの担当地域と比べて心配が多いか／少ないかが分かります
- ・ 担当の民生委員さんの名前の下には「高齢者がとても多い」等の特徴が書かれています



担当地域別の集計結果一覧（民生委員さんのみ配布）

- ・ 「もう少し詳しく知りたい」という方向けの資料です
- ・ 「多い／少ない」と言うけれど実際にどのくらいの数や割合なのか、全市ではどの位に位置するのかを設問毎に確認することができます



コラム “見守りかるた”をもっと活用しましょう！

いきいきタウン地区の地区連絡会では、令和5年度から日野市でも導入している“町田市みまもりかるた”を活用して話し合いを行いました。この日は民生委員の改選後最初の連絡会でしたが、新たに民生委員になった方がまだ面識の薄い周りの方々と楽しみながら交流する様子を見て、誰もが馴染みのある“かるた”の効果を実感しました。

他にも、“かるた”を活用した話し合いには以下のようなメリットがあります。日野市では“かるた”の貸し出しを行っていますので「かるたを見てみたい、遊んでみたい」という方は高齢福祉課までご一報ください。

- ✧ かるたに描かれた内容で“見守り”のやり方を学ぶ／復習することができる
- ✧ かるたに描かれた内容が呼び水となり「そういえばこんなことがあった」「実はこんな心配な方がいる」といった情報交換がしやすくなる
- ✧ 最後に、各自が気に入った／気になった札を紹介しあうことで、お互いの人となりがより分かるようになる

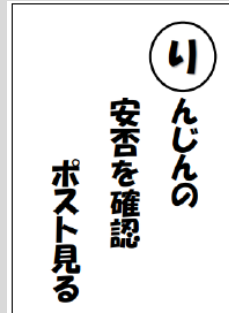
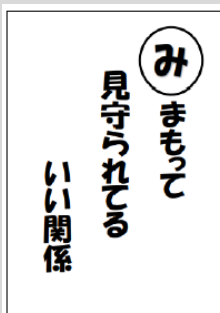
▼当日の様子



▼“町田市みまもりかるた”とは

地域の方が高齢者を見守る際のポイントを楽しみながら知るツールとして、地域包括支援センターを中心に2020年に作成されたものです。

一般的なかるたと同じように、机の上に並べられた絵札の中から、読み上げられた読み札と対になるものを他の人よりも早く取り、一番多く絵札を取った人が“勝ち”となります。



第3章「ネットワーク運営に関するその他の支援」

3-1 取組の概要

「個別の取組の実施支援」(第1章)や「より良いネットワークの構築支援」(第2章)は、参考となる情報を収集し、関係者の中で検討を行った上で、地域への働きかけ等の具体的な作業を行うという進め方をしています。

この作業の中心となるのが、次項で紹介する「見守り支援ネットワーク検討部会」です。

▼現在実施している取組

作戦本部的な機能を持つ検討部会の開催



「ニュースレター」による事業 PR の実施



他自治体の先進事例や国、都の動向の検討調査



3-2 各取組の実施状況

3-2-1 検討部会の開催

(1) 取組の概要

「見守り支援ネットワーク検討部会」は、見守り支援ネットワークの作戦本部的な機能を持つ場として平成26年度に立ち上げた会議です。メンバーは地域包括支援センターと高齢福祉課で構成し、見守り支援ネットワークの活動方針を検討するほか、各地域の取組状況の共有などを行っています。

令和7年度の検討部会は、地域の特徴にあわせた見守り活動の拡大（2-2-1）を進めることを主題に、各地域包括支援センターの取組の進捗管理と必要に応じたサポートを行う場として開催しました。

検討部会を開催するにあたっては、前年度と同様に地域包括支援センターの担当者へ検討シートを送付して、各地域の取組状況や今後の進め方等を事前に整理していただいた上で、その内容を踏まえて情報共有や意見交換を行うという進め方をとっています。

▼実施スケジュール

開催時期	取組項目	主な内容
令和7年 5月23日	令和7年度第1回見守り支援ネットワーク検討部会	○今年度の見守り支援ネットワーク事業の進め方 ○各地域の取組に関する情報交換
10月24日	令和7年度第2回見守り支援ネットワーク検討部会	○コンビニへの協力依頼用書式について ○各地域のその他の取組に関する情報交換
令和8年 1月22日	令和7年度第3回見守り支援ネットワーク検討部会	○地域の特徴にあわせた見守り活動について ー今年度の振り返り ー次年度の活動計画

▼検討シートの例

	各包括の計画 (昨年度に書いた「今後の取組」)	既にやっていること (第1回検討部会前に実施している)	まずやること (第2回検討部会までに実施する予定)	次にやること (第3回検討部会までに実施する予定)	できたらやること (包括側では時期を決められない事項等)
優先 順位 ①	見守り推進員の新規登録 箇所:全地域(特に程久保) 理由:見守り推進員の人数が減少のため、 進め方:民生委員さんに協力していただき、な っていただけそうなる方を紹介していただく、現役の推 進員に確認していただき、なっていただけそうなる方 を紹介していただく。地域の各種の集まりに出席 し、見守り推進員のことを周知する。	・なっていた、なっていた、なっていた、なっていた、 声をかけた。 ・6月4日地区連絡会で、11月に退任予定の民 生委員に見守り推進員になっていた、ようお願 いし、なっていた、なっていた、なっていた、 紹介していただくようお願いする予定。	・個別に退任予定の民生委員に見守り推進員に なっていた、なっていた、なっていた、 ・会ったことのない見守り推進員のお宅を訪問しあ いさつする。	・民生委員に見守り推進員になっていた、 な方を紹介していただき、推進員になっていた、 よう個別にお願いする。	・地域の各種の集まりに出席し、見守り推 進員のことを周知する。 ・程久保エリアで見守り推進員になっていた く方を見つける。
優先 順位 ②	コンビニとの協働体制構築(従業員 の方に包括のことを知ってもらう) 箇所:全地域 理由:コンビニは大切な見守りの資源なので。 進め方:包括支援センターのパンフレットを持って 訪問する。包括の役割の簡単に説明する。今後 知になるお客様等を見つけたら包括に連絡して いただくか、包括の連絡先を教えていただく、 お願いする。合わせて見守り事業所になっていた くを確認する。	・あさかわ園域にあるコンビニをリストアップ。 セブンイレブン:5か所 ファミリーマート:2か所 ローソン:1か所 100円ローソン:1か所	・リストアップしたコンビニを訪問する。	・訪問、もしくは電話で従業員やオーナーの意 見、要望などを聞いて、まとめる。	・7月いっぱいまでに訪問する予定である。 ・コンビニの従業員に知っていただきたいチ ラシ等があればそのつど届けに行く。

(2) 取組の実績

令和7年度は、計3回の検討部会を開催しています。

会の冒頭で全体への報告事項を確認した後、地域包括支援センターを主要な取組内容に応じて区分した2つのグループに分かれて話し合いを行い、最後にその内容を全体で共有するという進め方をとっています。その内容は以下の通りです。

- ✧ 新規協力者の獲得や既存協力者のテコ入れを最優先に取り組むグループ
- ✧ 新たな活動団体の立ち上げを最優先に：せせらぎ、多摩川苑、いきいきタウン、すずらん、かわきた

▼令和7年度第1回見守り支援ネットワーク検討部会

開催日時	令和7年5月23日(金) 9:30-11:30
開催場所	日野市役所 101 会議室
参加者	<地域包括支援センター>：9 包括の相談員 計 9 名（1 包括欠席） <事務局>：日野市高齢福祉課、委託事業者 計 5 名
プログラム	0. 開会 【報告事項】 1. 高齢福祉課からの報告（前年度事業報告書の概要等） ※各包括の活動状況等の報告は検討1の中で実施 【検討事項】 1. 今年度の見守り支援ネットワーク事業の進め方 2. 各地域の取組に関する情報交換 3. その他
議事概要	【報告事項】 コンビニ（セブン・イレブン）との連携について／事務局より ○見守りについて協定を結んでいるセブン・イレブン社を訪問し、最新版の市内のセブン・イレブン店舗毎の責任者と連絡先の一覧を入手した。こちらから連絡することについて了承を得ているので、訪問しても会えない時は活用して欲しい。 【検討事項】 新規協力者の獲得や既存協力者のテコ入れについて ○わんわん見守りを宣伝するためのチラシや阿多あらしい登録書等を作成した。 ○圏域内のコンビニをリストアップしたのでこれから計画的に訪問する予定。 【検討事項】 新たな活動団体の立ち上げについて ○働きかけを行っていた団体の役員が交代し機運がやや低下している。新役員との話し合いなどを開きながら支援方法を一緒に考えていく予定。 ○マルシェを開催するために移動販売等を行う事業所に相談したいと考えている。 →うち（いきいきタウン）から“あおとり”を紹介することができる。 【検討事項】 その他のやりとり ○既に活発に活動しているところからは声がかかることは少ないが、老人会から介護予防教室の依頼が増えている。 ○区画整理中の地域で、転居してしまった心配な高齢者の転居先を知りたい。 →行政でどこまでの情報が把握できているかまず確認してみたい。 ○シートには様々な取組を記載しているが、基本は地域を回って地域の情報を集めること、包括や見守りの取組について知ってもらうことである。 →新たな活動団体の立ち上げは、思うように進まないこともあるので、地域を回る過程で入手した情報も成果となるよう記録することが重要である。

▼令和 7 年度第 2 回見守り支援ネットワーク検討部会

開催日時	令和 7 年 10 月 24 日（金）9：30～11：30		
開催場所	日野市役所 101 会議室		
参加者	<u>＜地域包括支援センター＞</u> ：9 包括の相談員 計 11 名 <u>＜事務局＞</u> ：日野市高齢福祉課、委託事業者 計 5 名		
プログラム	0. 開会 【報告事項】 1. 各種報告 ※各包括の活動状況等の報告は検討 1 の中で実施 【検討事項】 1. 地域の特徴にあわせた見守り活動について 2. はつらつ・あんしん調査の有効活用について 3. その他		
議事概要	【報告事項】コンビニへの協力依頼用書式について／事務局より ○コンビニに持って行ける書式を作成・配布したので是非活用して欲しい。 ○使ってみて気になる点があれば連絡して欲しい。既に「何かやらなければいけないと捉えられた」という指摘もあるため、改善してより良い書式にしていきたい。 【検討事項】新規協力者の獲得や既存協力者のテコ入れについて ○コンビニは電話だとなかなか信用してもらえないので、直接訪問をしてアルバイトの方に検討を依頼するようにしている。ここでオーナーがいる時間を教えてもらい、次にその時間（土日やAM等）に訪問すると円滑に話が進むことが多い。 ○推進員候補と考えられる元民生委員に対しては、辞めて時間が経って連絡先が分からなくなってしまわないように、今回の改選から時間を空けずに話したいと考えているが、仕事を終えたばかりの方にはお願いしづらい点が悩ましい。 →やる気のある人は向こうから声をかけてくれる。「包括に言われたから」ではなく、仲間の繋がりでも動いてもらえるようにしたい。 【検討事項】新たな活動団体の立ち上げについて ○『スマホも学べる、みんなで楽しい食事会』を 2 包括の共催で開催予定。ここにどんな高齢層が来ているか、追加開催の需要があるかを確認して、今後の対応を検討したいと考えている。 ○買い物支援の活動へのサポートは順調に進んでいる。 ○老人会や体操等の地域の集まりに顔を出しているが、特に自治会のイベントは土日の開催が多く、どこまで対応するかが悩ましい。あそこには来てくれたのにこっちには…とならないようにしたい。 【検討事項】はつらつ・あんしん調査の有効活用について／事務局より ○新しい調査項目を活用して高リスク者を抽出する方法を検討した。 ○他にどんな情報があれば良いか、この情報を活用してどんなアウトリーチ活動を行うことができそうかご意見があれば連絡して欲しい。		

▼令和 7 年度第 3 回見守り支援ネットワーク検討部会

開催日時	令和 8 年 1 月 22 日（木）9：30-11：00		
開催場所	日野市役所 101 会議室		
参加者	＜地域包括支援センター＞：9 包括の相談員 ＜事務局＞：日野市高齢福祉課、委託事業者		計 12 名 計 6 名
プログラム	0. 開会 【報告事項】 1. 各種報告 ※各包括の活動状況等の報告は検討 1 の中で実施 【検討事項】 1. 地域の特徴にあわせた見守り活動について －今年度の振り返り －次年度の活動計画 2. その他		
議事概要	【検討事項】今年度の振り返り ～新規協力者の獲得や既存協力者のテコ入れについて ○手探りだったが、他の包括から話を聞きながらうまく活動することができた。 ○協力事業所については、もう少しアプローチ方法を改善する余地はあるが、コンビニを訪問してある程度の手応えを得ることができた。一方で、登録済の協力事業所と連携を強化するためにどのように顔を出していくかが次の課題。 ○わんわん見守りをはじめ、個人にはアプローチするのが難しかった。 ～新たな活動団体の立ち上げについて ○今年度は地域のサロンや移動販売など様々な場所に足を運んだ。移動販売については地域の貴重な見守りの場所になっていたりしている。 ○地区連絡会にて、消費生活センターを講師に詐欺被害に関する勉強会を開催した。日々生まれる新しい詐欺に対抗するためにも、他の地域でも消費生活センターに講演を依頼してはどうか。 【検討事項】次年度の活動計画 ～新規協力者の獲得や既存協力者のテコ入れについて ○協力事業所、特にコンビニは、オーナー／アルバイトにどこまで求めるかを見極めながら強弱をつけて訪問するのが良さそうだ。次年度は、コンビニに加えて薬局との関係構築・連携強化を進めて効果を確認する予定である。 ○難しかった個人へのアプローチは以下を参考にするのも良さそうだ。 －老人会等と関係を築き、その中で良く動いてくれる人がいたら登録を依頼する －韓国ソウルでは、犬が身につけるグッズを警察が渡して見守りを依頼している ○連絡会等の機会に新旧民生委員のつながりづくりを図るのも良い。こうした機会に協力してくれる旧民生委員さんは推進員に登録してくれる可能性が高そうだ。 ○ふれ筋アップ教室等の場を使って、見守り活動を紹介する話をしたり、サロンのチラシを配ったりすることも検討できそうだ。地域のふれ筋体操についても、社協経由で開催予定やリーダーの連絡先を聞いて訪問できるようにしたい。 ～新たな活動団体の立ち上げについて ○民生委員を辞める方が多いので、引継ぎ等を行うために相談協力員連絡会の機会を使って早めに顔つなぎを行う予定である。 ○ポイント制を導入している自治体を参考に、介護サポーターのハンコ対象を拡大する（移動販売の配達や体操のボランティア等）ことを考えたい。 →今後柔軟に検討したい。 ○法人の許可を得て、わんわん見守り隊の Instagram を次年度から運用し、ワンちゃんの写真等を投稿していく予定。現在は、「ワンちゃんの写真を撮る」「撮った写真を掲示する」というところで活動に魅力を感じている人が多いので、こうした取組を通じて楽しく活動をしてもらえたらと考えている。		

3-2-2 事業PRの実施

(1) 取組の概要

見守り支援ネットワークは、社会的にも孤立しがちな高齢者を地域での支えあいを通じ、見守り、支援することによって「安心していきいきと暮らせるまち」づくりを目指すものです。こうした支えあいには市民の理解と協力が不可欠であることから、事業開始当初から「ニュースレター」を作成して、現在の取組内容の報告や市内外の活動の紹介などを行い、見守り支援活動に関する理解の促進と普及啓発を図っています。

令和7年度は、この「ニュースレター」を2号作成しました。

▼「ニュースレター」の主な配布場所

- ◇ 市役所の窓口、地域包括支援センター
- ◇ 地域のスーパーや薬局等の協力事業所

▼事業PRの実施内容

発行／開催時期	取組項目	内容
令和7年冬号	ニュースレター第46号の作成	・市内の高齢者調査の結果がまとまりました！
令和8年春号	ニュースレター第47号の作成	・令和7年度の取組の成果をご紹介します！

（２）取組の実績

ニュースレターでは、令和７年度に実施した説明会やはつらつ・あんしん調査の分析結果の紹介を中心に、ネットワークの協力者の活動にも触れるような構成としています。

▼ニュースレター第４６号の概要

発行時期	令和７年冬
内 容	特集「市内の高齢者調査の結果がまとまりました！」 ＜表面／１ページ＞ ・リード文 ・はつらつ・あんしん調査の概要 ＜内面／２・３ページ＞ ・令和５・６年度調査の結果 ・調査結果を活用した見守りの取組の紹介 ＜裏面／４ページ＞ ・『協力事業所』による見守り活動の紹介 - ー郵便局の見守り活動「配達中に認知症の高齢者を発見!!」

▼ニュースレター第４７号の概要

発行時期	令和８年春
内 容	特集「令和７年度の実施した取組の成果をご紹介します！」 ＜表面／１ページ＞ ・リード文 ・【参考】『2025 年問題』をおさらい ＜内面／２・３ページ＞ ・令和７年度に実施した主な取組 - ー地域包括支援センターのPR - ー新しい協力者・事業所等の登録等 - ー地域の活動グループのお手伝い - ーその他の取組（SNS（Instagram）の活用） ＜裏面／４ページ＞ ・『協力事業所』による見守り活動の紹介 - ー調剤薬局の見守り活動「プロの目で地域の高齢者を見守る調剤薬局」

▼ニュースレター第46号の内容

『協力事業所』による見守り活動の紹介

高齢者見守り支援ネットワークでは、日頃より多くの協力者の方から地域の気になる高齢者に関する連絡をいただき、対応にあたっています。
中でも事業所からは「いま連絡をもらえて良かった」というものが特に多いことから、これから数回かけて『協力事業所』の見守り活動をご紹介します。

郵便局「配達中に認知症の高齢者を発見!!」

日野市内の郵便局は、見守り支援ネットワークが発足した平成18年度（約20年前!）から協力していただいている事業所の1つ。これまで何度も連絡をいただいているが、直近でもこんな出来事がありました!



① 8月の猛暑の日のお昼過ぎ、郵便局の配達員さんが配達途中の路上にてちょっと気になる高齢者を見つけた。



② 声をかけると「親戚の子を探している」とのこと。探している方の名前や住所が言えず認知症の疑いもあることから、心配した配達員さんは110番に通報して、警察が来るまでこの高齢者の側にいてくださいました。



③ その後、駆けつけた警察官がこの高齢者を保護し、身元が確認できたため、無事にご自宅へ送り届けることができました!



④ 猛暑の中でずっと外にいたら熱中症になってしまっていたかと思われる。高齢者を見守る意識と迅速な連絡のおかげで事故を未然に防ぐことができた出来事でした。



『協力事業所』とは、地域の高齢者の見守りに協力いただいている商店、事務所、医療機関等の事業所の力で、令和7年3月現在、日野市内では453事業所のネットワークがあります。
『協力事業所』の皆さまには、筆跡を通して高齢者と接する中で不安な方や気になることがあった場合に、地元の支援センターへ連絡をいただいています。月印としてそのようなステッカーを施設の入り口等に貼っていただいている「協力事業所」も増えています。

日野市高齢福祉課在宅支援係(高齢者見守り支援ネットワーク担当)

電話：042-514-8496（直通）／ FAX：042-583-4198
E-mail: kousei_zaitaku@city.hino.lg.jp

(※) このお知らせは再生紙を使用しています。このお知らせを廃棄するときは、資源ゴミとして出してください。

日野市高齢者見守り支援ネットワーク

ニュースレター 第46号 2025年冬号

いつもご協力ありがとうございます

市内の高齢者調査の結果がまとまりました!

日野市では、市内在住の75歳以上の方の健康状態や生活状況を把握するために、「はつらつ・あんしん調査」という調査を毎年実施しています。今回はこの調査から見えてくる傾向を内面でご紹介します。

調査は毎年4月1日現在で「75歳以上の奇数年齢の方」を対象に実施しているため、2面年では全体が把握できるようになっています。
令和7年度調査の結果はただ今、集計を行っているため、ここでは令和5年度と令和6年度の調査結果を分析した結果をご紹介します。

調査は、皆さまのご理解とご協力のおかげで毎年90%近い回収率となっており、高齢者支援の貴重な手がかりとなっています!

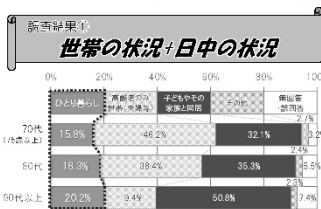
調査の結果をもとに介護予防のご案内をしたり、見守り支援の登録を行ったり、次ページのような分析を行って施策の検討に役立てたりしています。
調査のおかげで、緊急時に家族と連絡をとることができたことも多数あります。

はつらつ・あんしん調査の概要

- 調査対象：当該年度の4月1日現在、75歳以上のうち奇数年齢の方
介護認定を受けている方や特定の施設に入院・入所している方を除く
- 調査期間：毎年5月下旬～10月
- 調査方法：郵送配布・郵送回収
指定の期間内に郵送による返送がなかった方には、地域の民生委員が訪問して市への返送をお願いする場合があります
- 調査内容：令和5年度よりおおむね以下のようない問構成で調査を行っています
 - ①世帯の状況
 - 2日中ひとり暮らしの状況
 - 2週間以上休むことのある状況
 - 家族や近所の方との交流状況
 - 携帯電話やパソコンの利用状況
 - 耳の聞こえの困りごとの有無
 - ②からだや生活に関する困りごとや不安の有無
 - 7かかりつけの病院の有無
 - 今後あるとよい活動やサービス
 - 見守り支援ネットワークへの登録希望
 - ※緊急時の連絡先

調査結果を活用した見守り事業の展開 ～令和5・6年度調査の結果から～

対象者約1.9万人、回答者約1.6万人（ともに令和5・6年度の合計値）の主な結果を3つご紹介します!!



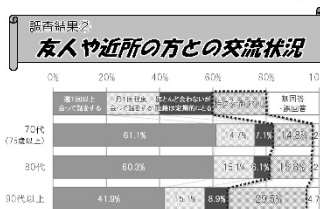
「ひとり暮らし」の方が約2.8千人
（このうち「ひとり暮らしで過ごすことが多い方」を合わせると約4.8千人）

このような方が特に多い（比率が高い）のは…
 ● 大規模住宅団地のあるエリア：高松台団地、多摩平の森、都営大塚上三丁目アパート、都営日野平山アパート、平山住宅
 ● その他のエリア：多摩平の森周辺の住宅地（多摩平3・4）

このような方を支える取組は…

ふれあい見守り推進員

地域のボランティア「ふれあい見守り推進員」が、「地域の見守り」や、「見守り希望の方」へ定期的な声かけや見守りを行っています。（※詳しくは「協力事業所」も紹介中）



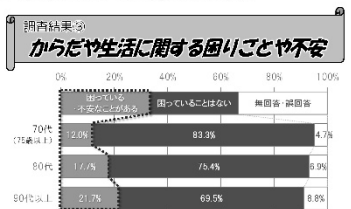
「特に交流はない」方が約2.5千人
（このうち「ひとり暮らし」で「困りごとや不安がある方」は約5百人）

このような方が特に多い（比率が高い）のは…
 ● 大規模マンションのあるエリア：ニューロシティ、ビバピルス、シティハイツ日野旭が丘
 ● 大規模住宅団地とその周辺エリア：多摩平の森と多摩平5・6、日野大塚上三丁目アパートと大塚上4

このような方を支える取組は…

ふれあいサロン

人々が集まって交流する中で「自然に見守りができているまち」を目指して、いつでも気軽に立ち寄れる「地域のたまり場」となるサロンの開設を進めています。



「困っている・不安なことがある」方が約2.4千人
（このうち「ひとり暮らし」で「困りごとや不安がある方」は約5百人）

このような方が特に多い（比率が高い）のは…
 ● 各所の住宅エリア：石田、上田、荒川、新町2、日野本町4、旭が丘3・4、豊田2、平山4
 ● 大規模住宅団地：日野新町1丁目アパート

このような方を支える取組は…

互近助サービスちょこすけ

市内には、自治会や有志の団体、NPO 法人などが、日常生活におけるちょっとした困りごとのお手伝いや生活支援のサービスを行っている地域があります。

こんな情報も施策の手段になりつつあります

携帯電話やパソコンの利用状況（複数回答）

- LINE（ライン）などSNSを使ってやり取りをする（48.8%）
- インターネットを使って検索や買い物をする（30.8%）
- 携帯電話やパソコンの操作は困難である（13.4%）
- 携帯電話やパソコンを持っていない（13.4%）
- 無回答・誤回答（13.6%）

耳の聞こえで困っていること

- ある（19.0%）
- ない（77.4%）
- 無回答・誤回答（3.6%）

かかりつけ病院の有無

- ない（8.4%）
- ある（89.2%）
- 無回答・誤回答（2.4%）

今後あるとよいサービス（複数回答）

- 連動や連携ができる場所（19.5%）
- 困ったときに相談できる場所や人（18.2%）
- スマートフォンやタブレットの使い方を指導（12.4%）
- サロンや地域の人と話せる場（8.2%）
- 食費や運動など気軽に相談ができる場（7.7%）
- 買い物支援（6.4%）
- その他（3.3%）
- 特にない（49.4%）
- 無回答・誤回答（6.8%）

▼ニュースレター第47号の内容

『協力事業所』による見守り活動の紹介

高齢者見守り支援ネットワークでは、日頃より多くの協力者の方から地域の気になる高齢者に関する連絡をいただき、対応につなげています。
中でも事業所からは「いま連絡をもらえて良かった」というものが特に多いことから、前号に続いて市内の『協力事業所』の見守り活動をご紹介します。

「70の目で地域の高齢者を見守る調剤薬局」

- ① ウエルシア薬局万寿寺店は1日何度も来るお客さんがいます。ある時、このお客さんが2日連続で来店しないということがありました。こんな時どう対応すれば良いのでしょうか？
- ② この薬局では店員さんが皆このお客さんの様子を気かけ、地域包括支援センターと連絡をとりあう関係ができていました。今回も店員さんからの連絡を受けた包括がすぐに状況を確認し、かかりつけの病院に入院していることを確認しました。
- ③ ○○○薬局では、処方箋を持たずに来店した方がいました。話がどうも聞き合えず認知症も疑われます。これまで来店したことがない方だったので薬局にも情報はありません。こんな時どう対応すれば良いのでしょうか？
- ④ この薬局では、その場でお客さんと話をして聞き取った情報を包括に電話で伝えてくれました。これを受けて、地域包括支援センターはこの方のお宅を訪問し生活の様子等を確認することができました。
- ⑤ このように、薬局では薬学・医学の専門知識を持ったプロの目で日々高齢者の様子を見守っており、何かあれば地域包括支援センターと連絡をとって対応する体制ができています。



「協力事業所」とは、地域の高齢者の見守りに協力いただいている商店、事業所、医療機関等の事業所の方で、令和6年3月現在、市内外で443事業所の登録があります。
「協力事業所」の皆さまには、連絡を通して高齢者と接する中で心配な方や気になることがあった場合に、地域包括支援センターへ連絡をいただいています。口頭としてそのようなステッカーを（確認の入口）に貼っていただいている「協力事業所」もあります。（全ての「協力事業所」に貼られている訳ではありません）

日野市高齢福祉課在宅支援係（高齢者見守り支援ネットワーク担当）

電話：042-514-8496（直通）／ FAX：042-583-4198
E-mail：kourei_zallaku@city.hino.lg.jp

※このお知らせは再生紙を使用しています。このお知らせを廃棄するときは、資源ゴミとして出してください。

日野市高齢者見守り支援ネットワーク

ニュースレター 第47号 2026年春号

地域の特徴にあわせた見守り活動の拡大に取り組んでいます

令和7年度の取組の成果をご紹介します！

令和6年（2025年）を境に団塊の世代が一斉に後期高齢者となったことで、見守り支援ネットワークの必要性がますます高まっています。

見守り支援ネットワークは、長年「ふれあい見守り推進員」や「協力事業所」といった個人・事業所単位で協力者の登録を進めてきたが、こうした協力者がいない／少ない地域でも体操やお茶会、犬の散歩等のついでに「見守り」をしている方もいることから、既存の協力者以外の方々と連携したり、地域独自の活動を支援したりすることを通して、「見守り」の意識を持った仲間を増やしていくこと＝地域の特徴にあわせた見守り活動の拡大に取り組んでいます。

内面ではこの1年間の取組の概要をご紹介します

【参考】「2025年問題」をおさらい

我が国で最も人口が集中して生まれた「団塊の世代（1947～49年生まれ）」が、全員75歳以上の後期高齢者になるのが2025年。これにより、高齢者人口が急増し、以下のような様々な問題が起こることに警鐘を鳴らすのが『2025年問題』という言葉です。

- 医療・介護サービスの需要の急増
- 働き手の減少により労働力不足の深刻化
- 社会保障費の負担の増大 など

若者だけに頼らない地域の中での支えあいの活動で、深刻な事態になる前に気づいて適切な医療・介護サービスにつなげることと社会保険料の負担にも貢献することができるといふ意味で、見守り支援ネットワークは『2025年問題』に反対するための大事な取組だと考えます。

※本誌にも掲載するイラストは全て半沢AI（Genga Ganshi/Nano Banana Pro）を許可して作成しました。

令和7年度に実施した主な取組

地域包括支援センターごとに 担当地域の環境等を踏まえて 工夫をこらした取組を実施しています!! ここではその一部を紹介します

地域包括支援センターのPR(もっと)

もしもの時に連絡がもらえる関係を築くため、地域の情報を把握するため、地域を回っています!

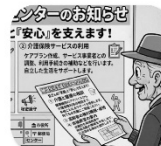
地域活動への参加

- 地域のお茶会や体操教室・ラジオ体操、お祭り等の催しの情報を収集して地域包括支援センターの職員が邪魔しています。
- ここで出会った方に包括のことを知ってもらって、その地域の住民のつながりの状況を把握することができました。



PR資料の配布

- 地域包括支援センターのお知らせを定期的に発行して、担当地域内の各自治会や左のイベント等で会った方に配布しています。
- お知らせに掲載している各種催しへの参加人数が増えており、包括の存在や活動が地域に浸透していることを実感しています。



新しい協力者・事業所等の登録等

見守りに協力していただく個人・事業所の新規登録やより活動がしやすいようになるための支援を行っています!

わんだま／わんわん見守りの拡大

- 犬の散歩等で地域をよく歩いている方に、散歩のついでに地域を見守ってもらうようお願いしています。
- 今年度も新しい協力者の方を見つけたら、新たに協力者同士が集う「隊員ミーティング」を開催したりすることができました。



コンビニとの協力関係の強化

- 包括への連絡方法が一目で分かる資料を作成して、高齢者との接点が多い事業所の1つであるコンビニを訪問して回りました。
- 登録済の店舗には改めて協力依頼を行ったほか、新規の店舗に「協力事業所」へ新規登録してもらうことができました。



地域の活動グループのお手伝い

高齢者が多い、外出が困難など心配の多い地域で、見守りを行う場や組織の立上げ、活動支援を行いました!

新しい催しの企画・開催

- 健康をテーマにした集まりを開催してきた地域では、新たに「健康体操と昭和の歌」を開催して20名の参加がありました。
- 食事を企画し、地域の方からスマホ教室の要望があったためセットで開催して30名に参加してもらうことができました。



その他にも...

- ふれあいサロンや移動販売のお手伝いをしていく方々の後方支援を行っています。
- このように、人が集まり自然と見守りができるような場所を地域の方と相談しながらつくり発掘させることを目指しています。



その他の取組

各自治会や地域の協力者の方々がそれぞれ創意工夫を凝らす取組の中からSNS（Instagram）を活用したこのような取組も生まれています!

SNS（Instagram）の活用

- 包括多摩川苑では、散歩のついでに地域を見守る「わんだま見守り隊」のPRと協力者の方々とより仲良くなることを目指して、登録した人や誰かをInstagramで紹介する取組を始めました。
- 杉田地域では、近隣の人たちが地域をお散歩して元気になったり、発見知りになったりすることを目標として、地域の見どころとなるような華花をInstagramに投稿するという取組を試行しています。



「うちの地域でも何かやって欲しい」「私にも協力できることはないか」といった疑問や相談がある方はお住まいの地域を担当する地域包括支援センターまでお声がけください!!

▶▶ 地域包括支援センターの担当地域や連絡先は右のQRコードからご確認ください▶▶

地域包括支援センターは、高齢者の皆さまが住み慣れた地域で安心して生活していただくために日野市が市庁舎内に設置する総合相談窓口です。見守り支援ネットワークにおいては、協力者の登録・連絡の受付～必要な支援策の手配までを行う窓口となっています。



3-2-3 先進事例の検討調査

(1) 取組の概要

見守り支援ネットワークでは、既存の取組の改善や新しい取組の検討を図るにあたって、参考となる他自治体の先進事例や国、都の動向を調査しています。

令和7年度は、見守りメール配信の強化を図るべく、同様の取組を行っている事例を調査して、どのような内容で配信を行っているかを確認しました。

▼先進事例の検討調査の概要

実施時期	調査項目	調査内容
令和7年 6月～12月	メール配信	・他所のメール配信、メールマガジンに登録してその配信内容を記録・整理した



(2) 取組の実績

高齢者への情報提供ではなく、高齢者の見守りに携わるボランティア等を対象にしたメール配信の事例として、自治体、社会福祉協議会、その他の事例を抽出して、そこで配信される内容を以下の通り整理しました。

- ✧ 長寿科学振興財団のメールマガジンでは、季節ごとに健康づくりのポイントを紹介しており、周囲の人が注意したいことも分かるようになっている
- ✧ 国民生活センターのメールマガジンでは、消費者被害について事例を交えた注意喚起を頻繁に行っており、この分野に関する十分な情報を入手することができる
- ✧ 自治体や社会福祉協議会のメール配信では、認知症サポーター養成講座や講演会等のボランティア向けの講座やイベントの情報、ボランティア募集等の情報が多く、その合間に熱中症対策等の健康管理に関する情報が配信されている

▼事例調査をもとにしたメール配信のコンテンツ（案）

- ✧ 調査した事例を参考に以下の通り配信コンテンツの候補を整理
- ✧ このような季節毎の注意点＝見守りのポイントと、時々講座やイベントの情報を配信することで見守りに対する関心を途切れさせない情報発信を計画する

配信時期	テーマ	コンテンツ案
1月	健康目標の立て方	・年始の健康目標の立て方、簡単な運動習慣の提案、地域の健康イベント情報
2月	冬の感染症予防	・インフルエンザ・風邪予防、加湿・換気の工夫、地域の見守り活動紹介
3月	花粉症・春の体調管理	・花粉症対策、春に向けた体調管理、散歩におすすめの地域スポット
4月	新しいつながりづくり	・地域サロンや交流会の案内、孤立予防のための連絡先リスト
5月	外出と運動のすすめ	・軽いウォーキングのすすめ、転倒予防のポイント、地域の公園情報
6月	湿気と体調管理	・湿気による体調不良対策、室内でできる運動、熱中症の初期症状
7月	熱中症予防	・水分補給のタイミング、冷房の使い方、地域の避暑スポット紹介
8月	防災と見守り	・台風・災害時の備え、避難所情報、見守りネットワークの活用
9月	認知症月間	・敬老の日メッセージ、地域のイベント案内、家族との連絡のすすめ
10月	食欲の秋と栄養	・秋の旬食材紹介、栄養バランスの取り方、簡単レシピ
11月	冷え対策	・衣類・住環境での冷え対策、温かい飲み物の紹介、地域の支援制度
12月	年末の安全と振り返り	・火の元・防犯対策、1年の健康振り返り、来年への準備

令和7年度
日野市高齢者見守り支援ネットワーク事業報告書

発行 令和8年4月

編集 日野市健康福祉部高齢福祉課

〒191-8686

東京都日野市神明 1-12-1

電話 042 (514) 8496

<http://www.city.hino.lg.jp/>
